

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	1 項	商工費		第1節	石巻独自の技術開発や新産業を創出する		()	
	2 目	商工業振興費		(4)	地域を支える商工業の振興を図る		()	
実施計画掲載ページ		P 41	中 事 業	自動車関連産業振興推進費				
事業コード		003-001-004-00151	事 業 名	自動車関連産業振興推進事業				
目的及び事業内容		石巻地域における自動車関連企業等の有機的なネットワーク形成や関連情報の共有化等を図りながら、地域企業の技術力の向上、自動車関連産業への参入に向けたプレゼン力の向上等に努めることにより、自動車関連産業への進出や取引の拡大を促進し、もって石巻地域の自動車関連産業の集積を図る。						
取組実績		<p>1 企業訪問 県内外の自動車関連企業を訪問し、本市の立地環境や各種優遇制度等のPRを行った。 ・訪問件数：延べ14件（うち新規0件、継続14件）</p> <p>2 宮城県企業立地セミナー in Nagoyaへの参加 中部圏に本社を有する企業等を対象としたセミナーに参加し、企業立地ガイドの配付や意見交換を行った。 ・日時：令和元年11月14日（木）午後3時～ ・場所：ホテルナゴヤキャッスル（愛知県名古屋市） ・参加者数：260人（158団体） ※セミナーに参加した企業との意見交換により東北地方への立地を検討しているとの情報を得たため、本市の産業用地等に関する情報を提供し、同社への訪問に繋がった。</p> <p>3 ものづくりトップマネジメントセミナーの開催 東北経済産業局地域経済部自動車・航空機産業室の「令和元年度地域中核企業ローカルイノベーション支援事業（とうほく自動車関連部素材産業競争力強化事業）」の一環として、「第4回ものづくりトップマネジメントセミナー in 石巻」を開催した。 ・日時：令和元年11月28日（木）午後1時～ ・場所：石巻市水産物地方卸売市場2階 見学者研修室 ・主催：石巻市、㈱フィデア情報総研 ・講師：㈱本田技術研究所 大平研究員、甲斐研究員 東北大学大学院 堀切川教授 ・参加企業：市内ものづくり企業7社</p>						
成 果		<p>「宮城県企業立地セミナー in Nagoya」に参加した自動車関連企業への訪問活動等により、本市への自動車関連産業の集積に向けた取組を行った。 また、東北経済産業局の事業の一環として、市内ものづくり企業の経営者等を対象に、自動車関連産業への参入に向けたプレゼン力の強化等を目的に、「第4回ものづくりトップマネジメントセミナー in 石巻」を開催した。 セミナーでは、参加した市内企業7社による自社PRのプレゼンを実施していただき、それに対して講師3名からのアドバイス等を受けてプレゼン力を身につけていただいた。</p>						
成果に係る評価		引き続き、「宮城県企業立地セミナー in Nagoya」への参加により接点を持った自動車関連企業への訪問活動を実施するとともに、関係する支援機関等と連携を図りながら、自動車関連産業集積に向けたセミナーの実施に努め、本市への自動車関連産業の集積を図っていく。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	750,000		645,650					645,650

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																																												
	1 項	商工費		第 節			(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																																												
	2 目	商工業振興費		()			(1)	被災者への生活支援																																																												
実施計画掲載ページ		P 183	中 事 業	消費者行政対策費・消費者行政活性化事業費																																																																
事業コード		002-101-003-00358	事 業 名	消費者行政対策事業																																																																
目的及び事業内容		消費生活における安全・安心の確保のため、消費生活相談員を配置して消費者被害の未然防止と救済に取り組むほか、自立した消費者の育成を図るため、消費者教育と消費生活に関する啓発を推進する。また、消費者行政の強化を図るため、消費生活相談体制の強化・充実を図っており、消費者被害の防止とともに、市民の消費生活に関する安心確保に努める。																																																																		
取組実績		<p>1 ラジオ石巻による啓発 週3回、2分程度の放送により悪質商法の手口の紹介や被害防止の注意喚起を行った。 2 地元紙「石巻かほく」への記事掲載 毎月第4金曜日、5段1/4スペースに様々な消費者被害の事例を掲載し注意喚起を行った。 3 消費者講演会等の実施 (1)市内小中高生を対象とした弁護士による消費者教育のための講演会（計6回開催、246名参加） ・北上小学校5、6年生、大原・奇磯小学校（合同開催）5、6年生、北上中学校3年生 ・荻浜中学校2、3年生、牡鹿中学校1年生、石巻北高等学校2年生 (2)市内保育所年長児を対象とした消費生活相談員による金銭学習会（計2回開催、33名参加） ・前谷地保育所、鹿又保育所 (3)主に高齢者を対象とした弁護士による消費者被害防止講演会（49名参加） (4)市民を対象とした出前講座「消費者被害にあわないために」の開催（計4回、89名参加） 4 啓発グッズの作製 高齢者等の詐欺被害防止を目的とした啓発用物品の作製 （ポケットティッシュ（2種類）27,000個、クリアファイル、メモ帳 各10,000冊）</p>																																																																		
成 果		<p>消費生活相談員を配置し、消費者からの相談に迅速かつ適切な対応を行うとともに、情報資料等の提供により消費者への啓発に寄与した。</p> <p>1 消費生活相談実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>金融・保険</th> <th>通信・運輸</th> <th>リース・賃貸</th> <th>工事・建築</th> <th>その他</th> <th>相談件数合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>157件</td> <td>215件</td> <td>89件</td> <td>36件</td> <td>587件</td> <td>1,084件</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>176件</td> <td>132件</td> <td>67件</td> <td>34件</td> <td>719件</td> <td>1,128件</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>218件</td> <td>163件</td> <td>67件</td> <td>21件</td> <td>636件</td> <td>1,105件</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 多重債務相談件数（年代別）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10～20代</td> <td>14人（13.5%）</td> <td>12人（9.5%）</td> <td>11人（7.0%）</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>16人（15.4%）</td> <td>20人（15.9%）</td> <td>25人（15.9%）</td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>25人（24.0%）</td> <td>22人（17.5%）</td> <td>28人（17.8%）</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>18人（17.3%）</td> <td>23人（18.2%）</td> <td>36人（22.9%）</td> </tr> <tr> <td>60代以上</td> <td>27人（26.0%）</td> <td>49人（38.9%）</td> <td>50人（31.9%）</td> </tr> <tr> <td>不明</td> <td>4人（3.8%）</td> <td>0人（0%）</td> <td>7人（4.5%）</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>104人</td> <td>126人</td> <td>157人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（ ）内は割合</p>							年度	金融・保険	通信・運輸	リース・賃貸	工事・建築	その他	相談件数合計	H29	157件	215件	89件	36件	587件	1,084件	H30	176件	132件	67件	34件	719件	1,128件	R1	218件	163件	67件	21件	636件	1,105件	区分	H29	H30	R1	10～20代	14人（13.5%）	12人（9.5%）	11人（7.0%）	30代	16人（15.4%）	20人（15.9%）	25人（15.9%）	40代	25人（24.0%）	22人（17.5%）	28人（17.8%）	50代	18人（17.3%）	23人（18.2%）	36人（22.9%）	60代以上	27人（26.0%）	49人（38.9%）	50人（31.9%）	不明	4人（3.8%）	0人（0%）	7人（4.5%）	合計	104人	126人	157人
年度	金融・保険	通信・運輸	リース・賃貸	工事・建築	その他	相談件数合計																																																														
H29	157件	215件	89件	36件	587件	1,084件																																																														
H30	176件	132件	67件	34件	719件	1,128件																																																														
R1	218件	163件	67件	21件	636件	1,105件																																																														
区分	H29	H30	R1																																																																	
10～20代	14人（13.5%）	12人（9.5%）	11人（7.0%）																																																																	
30代	16人（15.4%）	20人（15.9%）	25人（15.9%）																																																																	
40代	25人（24.0%）	22人（17.5%）	28人（17.8%）																																																																	
50代	18人（17.3%）	23人（18.2%）	36人（22.9%）																																																																	
60代以上	27人（26.0%）	49人（38.9%）	50人（31.9%）																																																																	
不明	4人（3.8%）	0人（0%）	7人（4.5%）																																																																	
合計	104人	126人	157人																																																																	
成果に係る評価		消費者被害を防ぐためには幼い時期からの意識啓発が大切なため、保育所年長児から高校生を対象とした消費者教育をはじめ、様々な啓発事業に取り組んでいるが、相談件数は毎年1,000件を超えている状況にある。中でも多重債務の相談が年々増加しており、60代以上が全体の約3分の1を占めているため、今後も各年齢層に合わせた広報・啓発事業の充実を図るとともに、消費者被害の注意喚起として各種事業を継続する必要がある。																																																																		
（単位：円）																																																																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																																															
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																												
	11,868,000		11,777,381		1,761,400			10,015,981																																																												

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()																																											
	1 項	商工費		第 節			()																																											
	2 目	商工業振興費		()			()																																											
実施計画掲載ページ			中 事 業	商工業振興対策費																																														
事業コード			事 業 名	商業団体支援事業																																														
目的及び事業内容		市内における地域商工業の総合的な改善・発達を図るために重要な組織である商工会議所や商工会に対して補助金を交付し、地域経済の活性化につながる健全な運営を支援する。																																																
取 組 実 績		<p>1 商工業振興対策事業費補助金 3,000,000円 既存産業の振興育成、中心市街地活性化に係る各種事業等に対する石巻商工会議所への補助</p> <p>2 中小企業振興対策事業費補助金 3,000,000円 中小企業相談所における経営改善普及事業（巡回相談、窓口相談等による金融、経営等の指導育成事業）に対する石巻商工会議所への補助</p> <p>3 商工会事業費補助金 22,094,000円 各地域の小規模事業者の経営改善普及事業、一般指導事業に対する各商工会への補助 (1) 石巻市牡鹿稲井商工会 4,492,000円 (2) 石巻かほく商工会 9,202,000円 (3) 河南桃生商工会 8,400,000円 平成28年度に3商工会の補助金算出根拠※を明確にし、平成29年度から5年かけて調整することとしている。 ※会員割単価（会員の指導及び福利厚生等にかかる経費を3商工会の全会員数で按分）と運営費割単価（商工会の運営にかかる経費を3商工会の全職員数で按分）に各商工会の会員数を乗じて算出</p>																																																
成 果		<p>商工会議所及び3商工会の経営指導員による巡回指導や窓口相談等を実施することにより、個々の事業者の経営課題に向き合った的確なアドバイスが行われ、地域経済の活性化及び販路開拓支援を図ることができた。</p> <p>※令和元年度の商工会議所・3商工会会員数及び指導件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>石巻 商工会議所</th> <th>牡鹿 稲井商工会</th> <th>石巻 かほく商工会</th> <th>河南 桃生商工会</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度末会員数</td> <td>2,112 人</td> <td>285 人</td> <td>450 人</td> <td>460 人</td> <td>3,307 人</td> </tr> <tr> <td>指導件数</td> <td>4,713 件</td> <td>2,412 件</td> <td>3,294 件</td> <td>2,681 件</td> <td>13,100 件</td> </tr> <tr> <td>巡回指導件数</td> <td>1,559 件</td> <td>977 件</td> <td>1,917 件</td> <td>1,361 件</td> <td>5,814 件</td> </tr> <tr> <td>窓口指導件数</td> <td>3,063 件</td> <td>1,337 件</td> <td>1,317 件</td> <td>1,228 件</td> <td>6,945 件</td> </tr> <tr> <td>集団指導件数</td> <td>17 件</td> <td>7 件</td> <td>10 件</td> <td>67 件</td> <td>101 件</td> </tr> <tr> <td>個別指導件数</td> <td>74 件</td> <td>91 件</td> <td>50 件</td> <td>25 件</td> <td>240 件</td> </tr> </tbody> </table>								石巻 商工会議所	牡鹿 稲井商工会	石巻 かほく商工会	河南 桃生商工会	合計	年度末会員数	2,112 人	285 人	450 人	460 人	3,307 人	指導件数	4,713 件	2,412 件	3,294 件	2,681 件	13,100 件	巡回指導件数	1,559 件	977 件	1,917 件	1,361 件	5,814 件	窓口指導件数	3,063 件	1,337 件	1,317 件	1,228 件	6,945 件	集団指導件数	17 件	7 件	10 件	67 件	101 件	個別指導件数	74 件	91 件	50 件	25 件	240 件
	石巻 商工会議所	牡鹿 稲井商工会	石巻 かほく商工会	河南 桃生商工会	合計																																													
年度末会員数	2,112 人	285 人	450 人	460 人	3,307 人																																													
指導件数	4,713 件	2,412 件	3,294 件	2,681 件	13,100 件																																													
巡回指導件数	1,559 件	977 件	1,917 件	1,361 件	5,814 件																																													
窓口指導件数	3,063 件	1,337 件	1,317 件	1,228 件	6,945 件																																													
集団指導件数	17 件	7 件	10 件	67 件	101 件																																													
個別指導件数	74 件	91 件	50 件	25 件	240 件																																													
成果に係る評価		<p>中小企業の経営改善普及事業を実施することにより、地域経済の発展や商店街の活性化が図られた。加えて、経営指導員による相談・指導活動等が不可欠であり、今後新型コロナウイルス感染拡大の影響も出てくることから事業を継続する必要がある。</p> <p>商工業振興対策費補助金については、既存産業の振興育成は図られている一方、中心市街地活性化に係る事業は物足りなさが感じられるため、効果的な中心市街地の活性化が図れるよう、今後の補助金の活用手段について、働きかけを行いながら事業を継続する必要がある。</p>																																																
(単位：円)																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	28,100,000	28,094,000					28,094,000																																											

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()																																												
	1 項	商工費		第 7 節	年間を通して観光客が訪れることによりにぎわいを創出する		()																																												
	2 目	商工業振興費		(1)	魅力ある観光地づくりと効率的なPRの推進を図る		()																																												
実施計画掲載ページ			P 56	中 事 業	商工業振興対策費																																														
事業コード		003-007-001-01052	事 業 名	商店街再生加速化支援事業																																															
目的及び事業内容		東日本大震災による環境の変化や少子高齢化などの社会問題への対応能力をもち、将来にわたって持続的に地域商業を支えることのできる発展的な商店街の構築を図るため、商店街再生加速化計画の策定や共同施設の整備、研修、イベント等商店街団体等が行う活性化事業に対して補助金を交付する（最大3年間）。																																																	
取 組 実 績		<p>令和元年度補助金額 8,978,808円 (立町大通り商店街振興組合 2,987,833円、株式会社街づくりまんぼう 5,990,975円)</p> <p>1 補助実施事業者 立町大通り商店街振興組合 (1) 令和元年度(3年目)取組実績 ア 商店街歩道上へのフラッグやブランター設置、買い物マップの設置 イ 金華開運商店街まつりの企画、実施 (2) 商店街再生加速化支援事業費補助金実績額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助金(宮城県)</td> <td>3/6</td> <td>624,393円</td> <td>1,825,764円</td> <td>1,792,699円</td> </tr> <tr> <td>補助金(石巻市)</td> <td>2/6</td> <td>416,262円</td> <td>1,217,176円</td> <td>1,195,134円</td> </tr> <tr> <td>自己資金</td> <td>1/6</td> <td>208,132円</td> <td>608,589円</td> <td>597,567円</td> </tr> <tr> <td>総事業費合計</td> <td></td> <td>1,248,787円</td> <td>3,651,529円</td> <td>3,585,400円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 補助事業実施事業者 株式会社街づくりまんぼう (1) 令和元年度(2年目)取組実績 ア マンガを活かした街なかの情報発信事業や街なか回遊イベントの企画、実施 イ ブロンズ製のマンガモニュメントの製作、設置(サイボーグ009、仮面ライダーBlack) (2) 商店街再生加速化支援事業費補助金実績額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助金(宮城県)</td> <td>3/6</td> <td>2,658,808円</td> <td>3,594,585円</td> </tr> <tr> <td>補助金(石巻市)</td> <td>2/6</td> <td>1,772,540円</td> <td>2,396,390円</td> </tr> <tr> <td>自己資金</td> <td>1/6</td> <td>886,270円</td> <td>1,198,195円</td> </tr> <tr> <td>総事業費合計</td> <td></td> <td>5,317,618円</td> <td>7,189,170円</td> </tr> </tbody> </table>								H29	H30	R1	補助金(宮城県)	3/6	624,393円	1,825,764円	1,792,699円	補助金(石巻市)	2/6	416,262円	1,217,176円	1,195,134円	自己資金	1/6	208,132円	608,589円	597,567円	総事業費合計		1,248,787円	3,651,529円	3,585,400円		H30	R1	補助金(宮城県)	3/6	2,658,808円	3,594,585円	補助金(石巻市)	2/6	1,772,540円	2,396,390円	自己資金	1/6	886,270円	1,198,195円	総事業費合計		5,317,618円	7,189,170円
	H29	H30	R1																																																
補助金(宮城県)	3/6	624,393円	1,825,764円	1,792,699円																																															
補助金(石巻市)	2/6	416,262円	1,217,176円	1,195,134円																																															
自己資金	1/6	208,132円	608,589円	597,567円																																															
総事業費合計		1,248,787円	3,651,529円	3,585,400円																																															
	H30	R1																																																	
補助金(宮城県)	3/6	2,658,808円	3,594,585円																																																
補助金(石巻市)	2/6	1,772,540円	2,396,390円																																																
自己資金	1/6	886,270円	1,198,195円																																																
総事業費合計		5,317,618円	7,189,170円																																																
成 果		<p>※補助金制度の概要 ○補助率…県3/6(市2/6、実施者負担1/6) ○補助限度額…3年間で19,000千円(ハード事業10,000千円、ソフト事業3,000千円×3年) ○補助事業者…商店街振興組合、商業等の活性化事業を行う目的で設立された3セク特定会社等</p> <p>立町大通り商店街振興組合においては、平成29年度に策定した計画に基づき、商店街歩道上にマンガを活用した商店街フラッグや買い物マップを整備することで、歩きたくなる商店街を目指した事業展開が図られた。株式会社街づくりまんぼうにおいては、LINEアプリミャーガノイドを使い地場産品や石巻の情報発信をし、マンガモニュメントを製作することにより、マンガを活かした街づくりが図られた。</p>																																																	
成果に係る評価		<p>立町大通り商店街振興組合においては、平成29年度に策定した事業計画通りに事業を実施することができ、順調な事業展開が図られた。</p> <p>株式会社街づくりまんぼうにおいては、LINEアプリを活用した情報発信やモニュメントの製作により、マンガを活かした街づくりが実践されたが、令和2年度以降は過去2年度の成果を効果検証しつつ、また、街なかの商店街と連携した事業を実施できるよう市として働きかける必要がある。</p>																																																	
(単位：円)																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																													
	10,359,000	8,978,808	5,387,284				3,591,524																																												

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()																									
	1 項	商工費		第 節			()																									
	2 目	商工業振興費		()			()																									
実施計画掲載ページ			中 事 業	物産振興対策費																												
事業コード			事 業 名	物産PR・イベント事業																												
目的及び事業内容		・県外各地で開催されるイベント等の場において、石巻市の物産やイベント等のPRを実施し購買促進を図る。 ・地場産品の紹介や現地での販売により、販路拡大を促進し、地場産業の振興を図る。																														
取組実績		石巻市の特産品のPR及び販売促進を図った。 1 観光物産PR等実施先 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>場所</th> <th>開催日</th> <th>入込数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>谷地どんが祭り(海鮮焼き、缶詰、乾物など)</td> <td>山形県河北町</td> <td>9/14~9/16</td> <td>82,000</td> </tr> <tr> <td>海の市(海鮮焼き、かき鍋、市内物産等販売)</td> <td>秋田県湯沢市</td> <td>10/26~10/27</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>ひたちなか市産業交流フェア(石巻やきそば、わかめ、こんぶ等販売)</td> <td>茨城県ひたちなか市</td> <td>11/2~11/3</td> <td>31,000</td> </tr> <tr> <td>B-1グランプリin明石</td> <td>兵庫県明石市</td> <td>11/23~11/24</td> <td>314,000</td> </tr> <tr> <td>上杉雪灯籠まつり</td> <td>山形県米沢市</td> <td>2/8~2/9</td> <td>160,000</td> </tr> </tbody> </table>							名称	場所	開催日	入込数(人)	谷地どんが祭り(海鮮焼き、缶詰、乾物など)	山形県河北町	9/14~9/16	82,000	海の市(海鮮焼き、かき鍋、市内物産等販売)	秋田県湯沢市	10/26~10/27	4,000	ひたちなか市産業交流フェア(石巻やきそば、わかめ、こんぶ等販売)	茨城県ひたちなか市	11/2~11/3	31,000	B-1グランプリin明石	兵庫県明石市	11/23~11/24	314,000	上杉雪灯籠まつり	山形県米沢市	2/8~2/9	160,000
名称	場所	開催日	入込数(人)																													
谷地どんが祭り(海鮮焼き、缶詰、乾物など)	山形県河北町	9/14~9/16	82,000																													
海の市(海鮮焼き、かき鍋、市内物産等販売)	秋田県湯沢市	10/26~10/27	4,000																													
ひたちなか市産業交流フェア(石巻やきそば、わかめ、こんぶ等販売)	茨城県ひたちなか市	11/2~11/3	31,000																													
B-1グランプリin明石	兵庫県明石市	11/23~11/24	314,000																													
上杉雪灯籠まつり	山形県米沢市	2/8~2/9	160,000																													
成 果		石巻観光協会と連携しながら友好都市や姉妹都市等で開催された物産展などへ参加し、市産品の紹介宣伝・物産PRを実施した。 その結果、効果的な物産PRを行うことができたことから、販路の拡大につながり、地域経済の活性化と地場産業の振興が図られた。																														
成果に係る評価		本事業により、地場産品及び伝統工芸品の販路拡大、産地間の交流に寄与している。他地域における石巻市の知名度の向上及び地場産品のブランド化を推進することは産業振興にもつながることから、今後も積極的に物産PRを実施し、地域産業の活性化を推進していく。 新型コロナウイルス感染拡大により、物産PRにおける環境は依然厳しい状況にあるが、令和2年度開館した雄勝硯伝統産業会館など復興を遂げた施設などを活用しながら、さらなる活性化に繋げたい。																														
(単位:円)																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	2,797,000	2,151,986				2,151,986																										

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()																
	1 項	商工費		第 1 節	地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる		()																
	2 目	商工業振興費		(1)	個性ある地域をつくる		()																
実施計画掲載ページ			P 130	中 事 業	物産振興対策費																		
事業コード		006-001-001-00155	事 業 名	伝統技術継承支援事業(伝統工芸品支援事業)																			
目的及び事業内容		・年次計画を柱に実施される事業活動への支援を行い、地場産業の振興を図る。 ・後継者に対する技術指導をはじめ、伝統工芸品の販路開拓や、販路の拡大、各種展示会や物産展に参加し、伝統工芸品のPR事業を実施する。																					
取組実績		雄勝硯、雄勝石工芸品のPR、販路拡大など振興事業を実施した。 1 共同事業 ・製品の共同販売・原材料の共同購買 2 共同検査事業 ・消費者へよりよい製品を提供するため、共同販売用製品の検査を実施 2回 ・後継者への指導、商品の検品 3 共同広告事業 統一した広告宣伝の実施 ・雄勝硯パンフレット作成 3,000部 4 伝統的工芸品産業振興事業 各種展示会・物産展への参加 ・県外物産展における実演・販売、硯や雄勝石工芸品の展示販売 13回 ・雄勝石を利用したワークショップ開催 2回 5 教育情報提供事業 ・組合員の技術向上を目的とした技術研修会 2回 交付先: 雄勝硯生産販売協同組合																					
成 果		需要開拓事業 東京都 4回(足立伝統工芸品展2回、全国伝統的工芸品展WAZA2020、伝統工芸青山スクエア特別展) 福島県 1回(第33回ふるさと会津工人まつり) 岩手県 2回(全国くらしの工芸展 ココロハコプロジェクト) 熊本県 1回(2019年涼の工芸展) 県内 5回(秋保 手・ん・店、宮城県産業技術総合センター「技術のおもちゃ箱展」、第29回 鳴子漆器展、東北伝統工芸逸品展 ちよっといいの販売会) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31(R1)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動(PR)回数</td> <td>16回</td> <td>15回</td> <td>11回</td> <td>13回</td> </tr> <tr> <td>活動(PR)日数</td> <td>106日</td> <td>115日</td> <td>77日</td> <td>68日</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	H28	H29	H30	H31(R1)	活動(PR)回数	16回	15回	11回	13回	活動(PR)日数	106日	115日	77日	68日
区 分	H28	H29	H30	H31(R1)																			
活動(PR)回数	16回	15回	11回	13回																			
活動(PR)日数	106日	115日	77日	68日																			
成果に係る評価		雄勝石産業の振興を図るため組合の事業基盤の強化に努めるとともに、事業承継を円滑に行うために後継者育成を実施し、県内外において雄勝硯や石工芸品等の需要拡大を目的とした展示、販売を行っている。 また、県内外での物産展等へ積極的に参加し、雄勝硯パンフレットの配布など販路拡大のPR活動を行ったほか、雄勝石を使用したフォトフレームのワークショップを開催し、手作りの技と伝統文化に接する機会を提供した。同時に雄勝地区の復興状況と、硯産地としての復旧状況もPRを実施した。 また、令和元年度末に「雄勝硯伝統産業会館」が完成し、令和2年度から運用開始しており、今後更なる振興に期待しているところである。なお、当該施設の運営業務を雄勝硯生産販売協同組合が受託しており、円滑なPR活動が期待できる。																					
(単位:円)																							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																	
	1,500,000	1,500,000				1,500,000																	

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	1 項	商工費		第4節	魅力的な農林業を確立する		()	
	2 目	商工業振興費		(2)	安定的な農業経営対策を推進する		()	
実施計画掲載ページ		P51	中 事 業		地域の宝研究開発事業費			
事業コード		003-004-002-01066	事 業 名		地域の宝研究開発事業			
目的及び事業内容		<p>本市の特産品となりうる新しい農産物の実証実験や埋もれている農産資源を発掘するための研究開発等を行う。</p> <p>1 東北地方であまり栽培されていないオリーブの栽培実験を行い、栽培技術の習得と生産体制の確立を目指す。</p> <p>2 オリーブ加工施設の整備を図る。</p> <p>3 特産品など地場農産物の販路開拓事業を実施する。</p>						
取組実績		<p>1 新たな果樹「オリーブ」栽培実験</p> <p>(1) 北上地区に1経営体の目標である1,500本が定植され引き続き実証栽培を継続。</p> <p>(2) 先進地より指導者に来ていただき栽培技術と圃場の管理並びにオリーブの搾油と搾油の技術を確立するための指導を実施。</p> <p>(3) 先進地である福島県いわき市へ視察（挿し木の方法、オリーブ圃場、商品販売等）</p> <p>(4) 宮城県石巻農業改良普及センターと協力して、栽培暦の作成や土壌調査、現地での病害虫の予防・駆除方法について取り組んだ。</p> <p>2 オリーブ加工施設の整備を図る。</p> <p>(1) 国の交付金を活用しオリーブ加工施設と搾油機械等の設備を整備。</p> <p>(2) 本年度搾油した「石巻産オリーブオイル」を「2020石巻復興フード見本市」にてPR活動を実施。</p> <p>3 特産品など地場農産物の販路開拓事業を実施</p> <p>(1) ㈱デ・リーフデ北上が千葉県幕張メッセで開催された「スーパーマーケット・トレードショー2020」に参加し全国のバイヤーに対して生産するトマト、パブリカのPRを実施。</p>						
成 果		<p>1 新たな果樹「オリーブ」栽培実験</p> <p>(1) 実施した栽培技術と管理作業の指導により、栽培技術や季節ごとの病害虫防除作業の習得ができた。</p> <p>(2) 先進地視察により、挿し木の手法や6次産業化に向けたオリーブ関連商品についての研修ができた。</p> <p>(3) 宮城県石巻農業改良普及センターと協力して、圃場の土壌の状況や生息する害虫や病気の確認ができ、それらへの対応が図られた。</p> <p>2 オリーブ加工施設の整備を図る</p> <p>(1) 栽培しているオリーブから105.44kgの果実が収穫され、その中から緑色の果実だけを選果し「石巻産オリーブオイル」約2.0Lが搾油できた。</p> <p>(2) フード見本市で「石巻産オリーブオイル」をバイヤーに試飲していただき、大半の方から味、香りに関して高評価であった。</p> <p>3 特産品など地場農産物の販路開拓事業を実施</p> <p>(1) 千葉の催事場においてバイヤーと商談や意見交換を行うなど販路拡大に向けPRができた。</p>						
成果に係る評価		<p>1 新たな果樹「オリーブ」栽培実験</p> <p>(1) 4地区で、約105kgの収穫があり定植から年数を重ね収穫量も増えているので、事業を継続する必要がある。</p> <p>2 オリーブ加工施設の整備を図る</p> <p>(1) 加工施設が整備され、その日のうちに搾油する事により高品質なオリーブオイルを製造する事ができた。</p> <p>3 特産品など地場農産物の販路開拓事業を実施</p> <p>(1) 販路開拓は生産の維持発展に大変重要なことから今後も事業を継続する必要がある。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	90,388,000		89,040,000		28,823,490	54,100,000		6,116,510

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	1 項	商工費		第 節			(2)	企業誘致と新産業の創出
	2 4 目	商工業振興費 東日本大震災関係費		()			(1)	産業の活性化と新産業の育成
実施計画掲載ページ		P215	中 事 業		産業振興対策費 企業立地等促進事業費			
事業コード		004-201-002-00943 004-201-002-01250	事 業 名		創業支援事業 産業復興支援事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容		<p>「石巻市創業支援等事業計画」に掲げる各種支援事業を実施するとともに、市内事業者に対する経営相談会やセミナーを開催し、本市産業の活性化及び雇用の確保を図る。</p>						
取組実績		<p>各種創業支援等事業の実施に加え、創業支援事業者間の連携を密にするため、「石巻市創業支援事業者連携会議」を定期的に開催し、各支援事業者の活動状況等の情報共有を行ったほか、本市独自の支援制度である「石巻市創業支援補助金制度」により、創業者の支援を行った。</p> <p>また、「第5回石巻市創業ビジネスグランプリ」を開催したほか、新たに創業機運醸成事業として、石巻北高等学校で起業家教育（アントレプレナーシップ）を行い、起業家意識の醸成を行った。</p> <p>さらに、石巻産業創造塾において、経営相談会や各種セミナーを開催し、若手経営者育成をはじめとして、地元企業の支援を行った。</p> <p>1 各種創業支援等事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談窓口の開設 利用者数 28件 起業・経営相談会 利用者数 42件 創業開成塾、なでしこ開成塾 受講者数 21名 創業フォローアップセミナー 受講者数 10名 創業機運醸成セミナー 参加者数 50名 <p>2 石巻市創業支援補助金の交付実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 11件 8,246,674円 <p>3 第5回石巻市創業ビジネスグランプリの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 募集期間：令和元年10月1日から11月30日まで 応募件数：一般部門 4件、学生部門 10件（大学生：2件、高校生以下：8件） 入賞者：一般部門 優秀賞1件、奨励賞2件 学生部門 大学生 該当なし 高校生以下 優秀賞2件 表彰式：令和2年1月26日（日）石巻市かわまち交流センター 高校生によるプレゼンテーション二次審査を行った後、一般部門の入賞者によるプレゼンテーションを行い、最後に表彰式を実施した。 また、ロビーにおいて、創業した事業者の商品（サービス）展示紹介を実施した。 <p>4 創業機運醸成セミナー開催 参加者50名</p> <p>5 若手経営者育成のための経営革新塾開催 受講者16名</p>						
成 果		<p>各種創業支援等事業の実施及び創業支援補助金の交付によって、効果的に創業を促進することができた。</p> <p>令和元年度の創業支援等事業の実施による創業件数は9件であった。</p> <p>創業ビジネスグランプリや創業機運醸成セミナーの開催により、創業機運の醸成に寄与した。なお、創業ビジネスグランプリの一般部門入賞者3名の方の提案については、全て事業化されており、新規創業の活性化が図られた。</p>						
成果に係る評価		<p>令和元年度は11名に対して補助金を交付している。目標値である10名を超える事業者に利用されており、本市の産業の活性化の一助となっている。</p> <p>また、補助事業を開始した平成26年度から令和元年度までに補助金を交付した事業者に事業状況のヒアリングを行ったところ、令和元年度末で計221名の雇用が創出されており、本施策の目的である雇用の確保も順調に図られている。</p> <p>震災による事業所数の減少等から、新規創業及び第二創業の促進は重要であり、今後も機運醸成から相談・セミナー、補助金交付、創業者フォローアップと一連の支援施策を実施し、新規創業の促進と創業者の事業継続に努め、産業の活性化及び雇用の確保を図っていく。</p>						
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	20,770,000		18,005,969					10,188,529 7,817,440

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()																					
	1 項	商工費		第 節			()																					
	3 目	観光費		()			()																					
実施計画掲載ページ			中 事 業	観光振興対策費																								
事業コード			事 業 名	観光PR事業																								
目的及び事業内容		新鮮な海産物に代表される四季折々の食材や美しい自然など、本市の豊富な観光資源を積極的に情報提供することで、誘客を促進し、観光客の入込数の増加と地域経済の活性化を図る。																										
取組実績		<p>1 観光並びに物産振興を推進している（一社）石巻観光協会に対し、事業費及び運営費の一部を補助し、パンフレットの作成や地域間交流事業など、観光宣伝事業を展開した。</p> <p>2 仙台・宮城【伊達な旅】夏キャンペーン、三陸復興国立公園協会において、県内・県外の関係機関と連携を図り、パンフレットやポスターの作成や、キャラバン等を行い、誘客PRを行った。</p> <p>3 宮城県国際観光テーマ地区推進協議会とともに、台湾での東北旅行推進イベントに参加し、本市のPRを行った。</p> <p>4 石巻～仙台間運行の高速バスへ、マンガ素材のラッピングを行い観光PRを継続実施した。</p> <p>5 日和山公園の桜の開花にあわせ観桜期間を設定し、ライトアップ実施や駐車場誘導員の配置など、来園者への対応を行った。 期間：平成31年4月21日～4月21日（10日間）、入込者数：12,800人</p> <p>6 食彩・感動いしのまき観光推進協議会で、食イベント「いしのまき・おもてなし じもとメンシ！」を実施した。（地産地消推進店67店舗参加）</p> <p>7 多言語観光案内板を市街地、牡鹿地区、離島へ整備し、観光の周遊・滞在及びインバウンド対応を行った。</p> <p>8 いしのまき観光大使を委嘱し、観光PR及びイメージアップを図った。 ①遠藤正明（アニソン歌手）②サンドウィッチマン（コメディアン）③重たみゆき（印象行動学者） ④林家たい平（落語家）⑤本間秋彦（テレビ、ラジオDJ）⑥松川茄穂（ミスユニバース宮城県代表） ⑦萌江（シンガーソングライター）⑧横山雄二（中国放送アナウンサー） 9 国際交流員を配置し、翻訳・通訳などインバウンド誘客の推進を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>場所</th> <th>開催日</th> <th>入込数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>函館キャラバン</td> <td>函館駅等（パンフ配布1,260部）</td> <td>8/21～22</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>日本東北遊楽日2019</td> <td>台湾・台北</td> <td>11/16～17</td> <td>130,000</td> </tr> <tr> <td>上野駅宮城産直市</td> <td>JR上野駅</td> <td>12/12～14</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>大宜味村まつり</td> <td>沖縄県大宜味村</td> <td>1/18～1/19</td> <td>5,500</td> </tr> </tbody> </table>							名称	場所	開催日	入込数（人）	函館キャラバン	函館駅等（パンフ配布1,260部）	8/21～22	-	日本東北遊楽日2019	台湾・台北	11/16～17	130,000	上野駅宮城産直市	JR上野駅	12/12～14	-	大宜味村まつり	沖縄県大宜味村	1/18～1/19	5,500
名称	場所	開催日	入込数（人）																									
函館キャラバン	函館駅等（パンフ配布1,260部）	8/21～22	-																									
日本東北遊楽日2019	台湾・台北	11/16～17	130,000																									
上野駅宮城産直市	JR上野駅	12/12～14	-																									
大宜味村まつり	沖縄県大宜味村	1/18～1/19	5,500																									
成 果		・本市のさらなる認知度向上のため、石巻観光協会や石巻圏観光推進機構等の関係団体と連携して観光PRを行った。 ・各種イベントへの参加及び地域間交流事業を活用し、観光PRに合わせて地場産品の紹介宣伝を行うとともに、市内で開催するイベント紹介など観光宣伝事業を展開し、観光・物産の振興を図った。 ・国内のイベント以外に台湾での観光PRや、多言語観光パンフレットの発行、多言語観光案内板の整備を行ったほか、大型客船来航時の受入体制として街なかインバウンドネットワーク会議を立ち上げ、街なかの観光案内及びおもてなしを行い、一定の効果上げた。																										
成果に係る評価		本事業により、観光PRを通じて他地域における石巻市の知名度を向上させることは本市の産業振興にもつながるため、今後も積極的に実施し、地域産業の活性化を推進することとしたい。 また、これまで国内を中心にプロモーション活動を実施してきたが、今般のインバウンド需要の重要性を鑑み、台湾等アジア圏域の需要にも取り込むべく、積極的な観光物産PRを進めてきた。これから更にインバウンド施策を拡充していこうという矢先に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、インバウンドについては今後大幅な減少から回復に至るまで長い時間を要することが予想されるため、まずは収束後の国内需要の取り込みに注力し、新規にオープンした施設の活用など地域の独自色を出しながら、他地域との差別化を推進する。																										
（単位：円）																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																						
	71,526,029	70,396,076	18,546,000		3,400,000	48,450,076																						

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 3 章	地域資源を生かして元 気産業を創造するまち	復興計画	()																																									
	1 項	商工費		第 7 節	年間を通して観光客が訪れることによりにぎわいを創出する		()																																									
	3 目	観光費		(1)	魅力ある観光地づくりと効率的なPRの推進を図る		()																																									
実施計画掲載ページ			P 57	中 事 業	観光振興対策費																																											
事業コード		003-007-001-00159	事 業 名	まつりイベント事業																																												
目的及び事業内容		各種祭りイベントの開催を支援することにより、地場産業の振興、地域伝統文化の継承保存及び地域住民の融和とコミュニティの形成による地域活性化を図る。あわせて、交流人口の増加による地域経済の活性化を推進する。																																														
取組実績		<p>各種まつりイベント実行委員会に対して補助金・負担金を交付し、事業の実施に当たっては実行委員会等への支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>イベント名称</th> <th>開催日</th> <th>入込数（人）</th> <th>補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サン・ファン祭り</td> <td>5/26</td> <td>12,000</td> <td>1,700,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻川開き祭り</td> <td>7/31～8/1</td> <td>194,000</td> <td>7,000,000円</td> </tr> <tr> <td>牡鹿鯨まつり</td> <td>8/4</td> <td>8,000</td> <td>3,000,000円</td> </tr> <tr> <td>サマーフェスティンかほく</td> <td>8/11</td> <td>9,500</td> <td>2,100,000円</td> </tr> <tr> <td>サン・ファン渡波市民祭り</td> <td>8/14</td> <td>3,500</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td>ものうふれあい祭り</td> <td>9/14</td> <td>16,000</td> <td>4,150,000円</td> </tr> <tr> <td>かほく産業まつり</td> <td>中止</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>かなん市民まつり</td> <td>11/2</td> <td>8,000</td> <td>1,900,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>251,000人</td> <td>20,050,000円</td> </tr> </tbody> </table>							イベント名称	開催日	入込数（人）	補助金	サン・ファン祭り	5/26	12,000	1,700,000円	石巻川開き祭り	7/31～8/1	194,000	7,000,000円	牡鹿鯨まつり	8/4	8,000	3,000,000円	サマーフェスティンかほく	8/11	9,500	2,100,000円	サン・ファン渡波市民祭り	8/14	3,500	200,000円	ものうふれあい祭り	9/14	16,000	4,150,000円	かほく産業まつり	中止	-	-	かなん市民まつり	11/2	8,000	1,900,000円	計		251,000人	20,050,000円
イベント名称	開催日	入込数（人）	補助金																																													
サン・ファン祭り	5/26	12,000	1,700,000円																																													
石巻川開き祭り	7/31～8/1	194,000	7,000,000円																																													
牡鹿鯨まつり	8/4	8,000	3,000,000円																																													
サマーフェスティンかほく	8/11	9,500	2,100,000円																																													
サン・ファン渡波市民祭り	8/14	3,500	200,000円																																													
ものうふれあい祭り	9/14	16,000	4,150,000円																																													
かほく産業まつり	中止	-	-																																													
かなん市民まつり	11/2	8,000	1,900,000円																																													
計		251,000人	20,050,000円																																													
成 果		各まつりイベント事業の開催により、観光客誘致、地域産業のPR等による地域活性化、地域文化の継承と郷土意識の向上、地域住民間の融和、にぎわいの創出が図られた。 なお、かほく産業まつりについては台風19号の影響により中止となったことから、秋の観光集客イベントがひとつ実施されなかった。																																														
成果に係る評価		地域ごとの特色のある各まつりイベント事業の開催により市内外からの誘客が推進され、交流人口の増加が図られるほか、地域住民と観光客など多くの人々とのつながりを持つことができ、地域活性化及び経済活性化が推進されている。																																														
（単位：円）																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	20,050,000	20,050,000			13,050,000	7,000,000																																										

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()																						
	1 項	商工費		第 節			()																						
	3 目	観光費		()			()																						
実施計画掲載ページ			中 事 業	サン・ファン・パウティスタパーク運営費																									
事業コード			事 業 名	サン・ファン・パウティスタパーク管理事業																									
目的及び事業内容		サン・ファン・パウティスタパークの適正な維持管理を図るとともに、市民の文化活動の向上と憩いの場を提供し、さらに観光拠点として地域活性化及び地域振興の推進に寄与する。																											
取 組 実 績		<p>1 指定管理者 公益財団法人慶長遣欧使節船協会</p> <p>2 指定管理料 40,000,000円</p> <p>3 指定管理期間 平成31年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>4 事業内容 (1)各種設備機器保安・保守業務 (2)パーク内行為許可業務 (3)観光情報の提供</p> <p>5 利用者数 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パーク来園者数</td> <td>134,621</td> <td>118,148</td> <td>99,906</td> <td>86,094</td> <td>86,644</td> <td>85,553</td> </tr> <tr> <td>サン・ファン館入館者数</td> <td>44,928</td> <td>48,614</td> <td>26,418</td> <td>31,886</td> <td>32,544</td> <td>31,188</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 施設改修整備事業 令和元年度～2年度にかけて実施 令和元年度予算額 146,642,000円 決算額 85,206,000円※残額61,436,000円は次年度へ繰越</p>							年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	パーク来園者数	134,621	118,148	99,906	86,094	86,644	85,553	サン・ファン館入館者数	44,928	48,614	26,418	31,886	32,544	31,188
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1																							
パーク来園者数	134,621	118,148	99,906	86,094	86,644	85,553																							
サン・ファン館入館者数	44,928	48,614	26,418	31,886	32,544	31,188																							
成 果		<p>隣接する宮城県慶長使節船ミュージアム(サン・ファン館)との一体的な管理運営により、相互の施設の魅力や集客力の向上を効率的に実施し、安定した管理運営が図られた。また、民間主催の各種イベント会場の貸出に留まらず、積極的に事業協力するなど、地域の活性化や賑わいの創出などの利用促進にも努めた。</p> <p>○サン・ファン・パウティスタパークを会場とした主なイベント</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>来場者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サン・ファン祭り</td> <td>5/26</td> <td>12,000</td> </tr> <tr> <td>サン・ファン石恋まつり(民間主催)</td> <td>7/15</td> <td>2,505</td> </tr> <tr> <td>MFJ東北復興応援ツーリング2019 キックオフイベント(民間開催)</td> <td>8/3</td> <td>664</td> </tr> <tr> <td>サン・ファン渡波市民夏まつり</td> <td>8/14</td> <td>3,500</td> </tr> <tr> <td>「渡波小学校縦割り遠足」オリエンテーリング</td> <td>9/19</td> <td>259</td> </tr> </tbody> </table> <p>○サン・ファンパウティスタパーク施設改修工事 令和元年度より2ヶ年計画で実施している当該施設の改修工事について、令和元年度は建築工事としてパーク内の立体駐車場の修繕やパーク内破損タイルの交換、電気工事として外灯の修繕や新設及び監視カメラ修繕等を行い、利用促進及び利用者の安全確保に努めた。</p>							事業名	開催日	来場者数(人)	サン・ファン祭り	5/26	12,000	サン・ファン石恋まつり(民間主催)	7/15	2,505	MFJ東北復興応援ツーリング2019 キックオフイベント(民間開催)	8/3	664	サン・ファン渡波市民夏まつり	8/14	3,500	「渡波小学校縦割り遠足」オリエンテーリング	9/19	259			
事業名	開催日	来場者数(人)																											
サン・ファン祭り	5/26	12,000																											
サン・ファン石恋まつり(民間主催)	7/15	2,505																											
MFJ東北復興応援ツーリング2019 キックオフイベント(民間開催)	8/3	664																											
サン・ファン渡波市民夏まつり	8/14	3,500																											
「渡波小学校縦割り遠足」オリエンテーリング	9/19	259																											
成果に係る評価		<p>復元船サン・ファン・パウティスタ号の乗船は中止となっており、年間を通しての利用者数が、新型コロナウイルスの影響もあり前年と比較して約1,000人減少している。利用促進を図る取り組みとして、サン・ファン広場を中心に、安全な憩いの場の提供・各種イベント会場としての貸出や、開催されたイベントへの事業協力等、地域の活性化や賑わいの創出などに努めた。</p> <p>また、サン・ファン・パウティスタパーク施設改修工事については、今後パーク内噴水の修繕や遊具の設置、駐輪場の修繕等を予定しており、さらなる来客の増加及び利用促進を図っていく。</p>																											
(単位:円)																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																							
	85,206,000	85,206,000		42,900,000		42,306,000																							

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()																									
	1 項	商工費		第 節			()																									
	3 目	観光費		()			()																									
実施計画掲載ページ			中 事 業	石ノ森萬画館運営費																												
事業コード			事 業 名	石ノ森萬画館運営事業																												
目的及び事業内容		街づくりまんぼうへの指定管理により、石ノ森萬画館の適正な維持管理を図るとともに、マンガ文化及び地域文化を発信し、誘客の促進と市内外の人々との交流促進を図り、市における文化の発展と地域経済の振興に寄与する。																														
取 組 実 績		<p>1 指定管理者 株式会社街づくりまんぼう</p> <p>2 指定管理料 58,600,000円(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響額補填3,600,000円含む)</p> <p>3 指定管理期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日</p> <p>4 事業内容 (1)常設展示 ・石ノ森バイオグラフィ、サイボーグ009の世界、仮面ライダーの世界 など (2)特別企画展</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>企画展名</th> <th>開催期間</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成仮面ライダー20展 ～平成を駆け抜けろ～</td> <td>H31/4/20～R1/6/30</td> <td>43,702人</td> </tr> <tr> <td>弱虫ペダル展</td> <td>R1/7/13～10/14</td> <td>32,533人</td> </tr> <tr> <td>開田裕二の機動戦士ガンダムギャラリー</td> <td>R1/10/26～12/15</td> <td>9,871人</td> </tr> <tr> <td>ジョーン・タンの世界展 どこでもないどこかへ</td> <td>R1/12/21～R2/2/11</td> <td>8,043人</td> </tr> <tr> <td>はじめの一步 大原画展～魂のパウト～</td> <td>R2/2/22～3/2</td> <td>1,569人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※はじめの一步 大原画展は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館により3/3以降休止 (3)映像ホール(有料) ・「龍神沼」、「消えた赤ずきんちゃん」、「シージッター海斗特別編」を上映 (4)ライブラリー、マルチメディア工房(無料展示) ・マンガ本約6,000冊、映像約300作品、各種ワークショップ体験ができるスペース (5)資料収集・保存活動(過去に出版された石ノ森関連書籍や各マンガ家からの寄贈色紙など) (6)マンガタンイラストギャラリー(年4回テーマを設けてイラスト作品を募集し、萬画館に展示) ・応募数: R1=254点、H30=290点、H29=208点、H28=259点、H27=258点、H26=233点</p>							企画展名	開催期間	延べ人数	平成仮面ライダー20展 ～平成を駆け抜けろ～	H31/4/20～R1/6/30	43,702人	弱虫ペダル展	R1/7/13～10/14	32,533人	開田裕二の機動戦士ガンダムギャラリー	R1/10/26～12/15	9,871人	ジョーン・タンの世界展 どこでもないどこかへ	R1/12/21～R2/2/11	8,043人	はじめの一步 大原画展～魂のパウト～	R2/2/22～3/2	1,569人						
企画展名	開催期間	延べ人数																														
平成仮面ライダー20展 ～平成を駆け抜けろ～	H31/4/20～R1/6/30	43,702人																														
弱虫ペダル展	R1/7/13～10/14	32,533人																														
開田裕二の機動戦士ガンダムギャラリー	R1/10/26～12/15	9,871人																														
ジョーン・タンの世界展 どこでもないどこかへ	R1/12/21～R2/2/11	8,043人																														
はじめの一步 大原画展～魂のパウト～	R2/2/22～3/2	1,569人																														
成 果		<p>石ノ森萬画館の適正な維持管理を図るとともに、マンガ文化及び地域文化を発信することにより、人々の交流を促進することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数</th> <th>うち有料入場者数</th> <th>入館料等収入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>179,814人</td> <td>89,424人</td> <td>70,882,253円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>170,003人</td> <td>82,520人</td> <td>64,819,962円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>175,351人</td> <td>83,790人</td> <td>65,402,569円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>190,020人</td> <td>91,178人</td> <td>69,946,912円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>214,838人</td> <td>102,314人</td> <td>78,222,053円</td> </tr> </tbody> </table>							年度	利用者数	うち有料入場者数	入館料等収入	H27	179,814人	89,424人	70,882,253円	H28	170,003人	82,520人	64,819,962円	H29	175,351人	83,790人	65,402,569円	H30	190,020人	91,178人	69,946,912円	R1	214,838人	102,314人	78,222,053円
年度	利用者数	うち有料入場者数	入館料等収入																													
H27	179,814人	89,424人	70,882,253円																													
H28	170,003人	82,520人	64,819,962円																													
H29	175,351人	83,790人	65,402,569円																													
H30	190,020人	91,178人	69,946,912円																													
R1	214,838人	102,314人	78,222,053円																													
成果に係る評価		<p>年度内に5つの企画展を開催し、3月は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により休館となったものの、4・5月に開催した「平成仮面ライダー20展」によって多大な集客があったことから、前年比13%の入場者増となった。また、各企画展と連動して市内各所を巡るスタンプラリーを開催し、かわまち交流センターやCOMMON-SHIP橋通り等、かわまちエリア全体の周遊を促した他、人気声優を招いてのトークショーやバザーなどを実施した。</p> <p>上記の他にも、中瀬公園においてマンガタン祭り等の定期イベントの開催や、フォトコンテスト、期間限定メニューの販売等を企画し、イベント開催時以外にも入場者が増加するよう努めた。次年度も新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら集客を回復できるよう指定管理者へ働き掛けていく。</p>																														
(単位:円)																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																										
	60,981,000	60,921,880				60,921,880																										

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()																																																																											
	1 項	商工費		第 節			()																																																																											
	3 目	観光費		()			()																																																																											
実施計画掲載ページ			中 事 業	マンガアイランド管理運営費																																																																														
事業コード			事 業 名	マンガアイランド管理運営事業																																																																														
目的及び事業内容		田代島の豊かな自然環境に親しみ、マンガとふれあう場を設けることにより、市民の自然と文化への理解を深め、心身の健康を増進するとともに、住民と来訪者との交流による島の活性化を図ることを目的とする。																																																																																
取 組 実 績	1 マンガアイランド利用実績 内訳																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">マンガロッジ</th> <th colspan="3">テントサイト</th> <th colspan="3">合計</th> <th rowspan="2">使用料(円)</th> </tr> <tr> <th>実人数</th> <th>延べ人数</th> <th>利用件数</th> <th>実人数</th> <th>延べ人数</th> <th>利用件数</th> <th>実人数</th> <th>延べ人数</th> <th>利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>518</td> <td>591</td> <td>163</td> <td>109</td> <td>128</td> <td>47</td> <td>627</td> <td>719</td> <td>210</td> <td>1,645,700</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>495</td> <td>560</td> <td>168</td> <td>77</td> <td>92</td> <td>40</td> <td>572</td> <td>652</td> <td>208</td> <td>1,672,650</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>393</td> <td>468</td> <td>149</td> <td>70</td> <td>83</td> <td>30</td> <td>463</td> <td>551</td> <td>179</td> <td>1,466,700</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>296</td> <td>350</td> <td>110</td> <td>55</td> <td>69</td> <td>33</td> <td>351</td> <td>419</td> <td>143</td> <td>1,134,050</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>658</td> <td>763</td> <td>237</td> <td>177</td> <td>180</td> <td>84</td> <td>835</td> <td>943</td> <td>321</td> <td>2,534,230</td> </tr> </tbody> </table>								年度	マンガロッジ			テントサイト			合計			使用料(円)	実人数	延べ人数	利用件数	実人数	延べ人数	利用件数	実人数	延べ人数	利用件数	H27	518	591	163	109	128	47	627	719	210	1,645,700	H28	495	560	168	77	92	40	572	652	208	1,672,650	H29	393	468	149	70	83	30	463	551	179	1,466,700	H30	296	350	110	55	69	33	351	419	143	1,134,050	R1	658	763	237	177	180	84	835	943	321
年度	マンガロッジ			テントサイト			合計			使用料(円)																																																																								
	実人数	延べ人数	利用件数	実人数	延べ人数	利用件数	実人数	延べ人数	利用件数																																																																									
H27	518	591	163	109	128	47	627	719	210	1,645,700																																																																								
H28	495	560	168	77	92	40	572	652	208	1,672,650																																																																								
H29	393	468	149	70	83	30	463	551	179	1,466,700																																																																								
H30	296	350	110	55	69	33	351	419	143	1,134,050																																																																								
R1	658	763	237	177	180	84	835	943	321	2,534,230																																																																								
取 組 実 績		2 備品等貸出件数 内訳																																																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>利用件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マウンテンバイク(大人用)</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>マウンテンバイク(小人用)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>電動自転車</td> <td>341</td> </tr> <tr> <td>釣竿</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>天体望遠鏡</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>488</td> </tr> </tbody> </table>								種類	利用件数	マウンテンバイク(大人用)	108	マウンテンバイク(小人用)	11	電動自転車	341	釣竿	26	天体望遠鏡	2	合 計	488																																																											
種類	利用件数																																																																																	
マウンテンバイク(大人用)	108																																																																																	
マウンテンバイク(小人用)	11																																																																																	
電動自転車	341																																																																																	
釣竿	26																																																																																	
天体望遠鏡	2																																																																																	
合 計	488																																																																																	
成 果		令和元年度は、NPO法人石巻スポーツ振興サポートセンターに業務委託し、4月20日から10月31日まで稼働した。 繁忙期・閑散期の種別を無くし、火曜日のみを休館日としたことに加え、施設利用の予約受付を石巻圏観光推進機構に委託しインターネット上で受け付けたことで、利用者の利便性が向上し、利用件数及び使用料収入が前年比約2.2倍となった。																																																																																
成果に係る評価		宮城県外からの予約や外国人観光客の利用も見受けられ、マンガアイランド及び田代島に対する関心の高さが伺えることから、今後も継続的な情報発信や、三石崎などといった島の資源を活用し、さらなる観光誘客の促進を図っていく。																																																																																
(単位：円)																																																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																																												
	15,011,343	14,922,166			2,554,456	12,367,710																																																																												

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 3 章	地域資源を生かして元 気産業を創造するまち	復興計画	()		
	1 項	商工費		第 7 節	年間を通して観光客が訪れることによりにぎわいを創出する		()		
	3 目	観光費		(1)	魅力ある観光地づくりと効率的なPRの推進を図る		()		
実施計画掲載ページ		P58	中 事 業	石巻圏DMO推進事業費					
事業コード		003-007-001-01184	事 業 名	石巻圏DMO推進事業【地方創生】					
目的及び事業内容		石巻圏における観光の広域連携と、圏域の経済効果・産業の活性化や地域の価値向上を目的とし、効果的な情報発信や、周遊モデルルートの作成・商品化などを行う一般社団法人石巻圏観光推進機構の運営を支援する。							
取 組 実 績	石巻圏DMO推進事業								
	1 観光コンテンツ開発・人材育成事業 (1)インバウンド対応事業 大型客船受入対応：かわまち交流センターにて外国人向けウェルカムイベントを開催 海外旅行会社を対象としたモニターツアー（金華山）の実施 (2)地域コンテンツ開発事業・人材育成事業 観光コンテンツ・旅行商品の開発 15商品 「石巻セリ鍋」の開発・キャンペーンの実施 2 コーディネート事業 (1)民泊事業 イベント民泊の受け入れ並びに民泊受入システムの構築 (2)大型イベントにおける旅行商品造成・販売 リボンアートフェスティバル2019における公式アート鑑賞ツアーの実施 3 教育旅行誘致事業 宮城県、東北観光推進機構等と連携し、県内外の中学校へのプロモーション活動を実施 4 サイクルツーリズム推進事業 (1)レンタサイクルの貸出 (2)サイクルステーションの整備・拡充 5 二市一町観光プロモーション事業 (1)石巻圏団体旅行宿泊助成金 (2)石巻圏インスタグラムフォトコンテストの実施								
成 果		インバウンド対応事業では、大型客船入港時に地域の関係者、事業者と連携し受入を行った。また、欧米豪旅行客をターゲットとした金華山コンテンツ開発を行い、海外旅行会社を招いたモニターツアーを実施した。 地域コンテンツ開発としては、地域の名産である「石巻せり」を活かした「石巻せり鍋」の開発・キャンペーン実施（市内飲食店12店舗）した。 コーディネート事業では、リボンアートフェスティバル2019における公式アート鑑賞ツアーの実施に伴い、多くの交流人口拡大に寄与した。 サイクルツーリズム推進事業では、レンタサイクルの貸出拠点やサイクルステーション協力店を増やし、サイクリストの誘客を推進し、エリア内の交流人口の拡大に努めた。							
成果に係る評価		石巻圏観光推進機構設立3年目となり、平成30年3月14日に取得した地域限定旅行業を活かした旅行商品の造成・販売を通じ、リボンアートフェスティバル2019における公式アート鑑賞ツアーのなどが追い風となり、設立後最大の収益となったが、年度末より今般の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けており、事業推進及び収益拡大は非常に厳しい状況にあることから、同機構の自立自走のための方策を注視していく。							
(単位：円)									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源			
	33,352,000	33,352,000	16,676,000			16,676,000			

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()																										
	1 項	商工費		第 節			()																										
	3 目	観光費		()			()																										
実施計画掲載ページ			中 事 業	家族旅行村管理費																													
事業コード			事 業 名	家族旅行村管理事業																													
目的及び事業内容		おしか家族旅行村オートキャンプ場を運営することにより、自然の中での健全な観光レクリエーションを楽しむ場を確保し、自然との調和を図りつつ、健康と福祉の増進及び観光産業の振興を図る。																															
取組実績		<p>○おしか家族旅行村オートキャンプ場 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設：管理棟 1棟（事務室、ロビー、便所、倉庫及び休憩室） サンタリー棟 1棟（炊事室、洗面所、便所及びシャワー室） 個別サイト 31か所（電源付サイト：5か所、サイトA：23か所、サイトB：3か所） ケビン棟 6棟（A棟：4棟、B棟：2棟） <p>○管理業務</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 指定管理者 太平ビルサービス（株） 2 指定管理期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日 3 指定管理料 6,651,000円（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響額補填651,000円含む） 4 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ①施設管理運営 ②施設維持管理 ③自主事業（売店、レンタル等） <p>5 利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数（ケビン棟）</td> <td>240</td> <td>317</td> <td>434</td> <td>392</td> </tr> <tr> <td>利用件数（個別サイト）</td> <td>299</td> <td>421</td> <td>891</td> <td>1,228</td> </tr> <tr> <td>利用者数（人）</td> <td>2,469</td> <td>3,329</td> <td>4,641</td> <td>6,146</td> </tr> <tr> <td>利用金額（円）</td> <td>6,676,800</td> <td>9,800,100</td> <td>12,436,200</td> <td>15,598,550</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本オートキャンプ協会費 50,000円 <p>○修繕内容（市）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケビン棟（B-1、B-2）外壁塗装修繕 2,472,800円 							実績	H28	H29	H30	R1	利用件数（ケビン棟）	240	317	434	392	利用件数（個別サイト）	299	421	891	1,228	利用者数（人）	2,469	3,329	4,641	6,146	利用金額（円）	6,676,800	9,800,100	12,436,200	15,598,550
実績	H28	H29	H30	R1																													
利用件数（ケビン棟）	240	317	434	392																													
利用件数（個別サイト）	299	421	891	1,228																													
利用者数（人）	2,469	3,329	4,641	6,146																													
利用金額（円）	6,676,800	9,800,100	12,436,200	15,598,550																													
成 果		震災後は、自然の中で健全な観光レクリエーションの場を確保し、観光産業の振興を図るとともに、ケビン棟の外壁塗装修繕を実施し、施設の維持管理に努めている。運営管理については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、令和2年3月9日から3月31日まで休館したもの、平成29年12月から開始したインターネットによる利用予約に加え、情報誌、ラジオ、テレビCMを活用した周知により、ゴールデンウィークや夏休み等の行楽シーズンは高い稼働率で施設の利用状況は良好であった。また、冬季期間（12月～3月）には個別サイトの開放を実施しており、年間利用者数は約32%増の6,146人と大幅に伸ばしている。利用者数の増に伴い、施設利用料も増加している。																															
成果に係る評価		新型コロナウイルス感染症拡大に伴い休館中の予約はすべてキャンセルとしたが、通年において利用者が増加しており、繁忙期以外での利用者数の増加も顕著で、順調な成果を示している。今後においても新型コロナウイルスの感染予防を徹底しながら、金華山やみちのく潮風トレイル等との相乗効果が出るようなPRや、牡鹿半島の魅力を積極的に発信しながら、周辺施設や地元宿泊施設等と連携した事業運営を行い、観光振興につなげ、さらなる利用者の増加を目指したい。																															
（単位：円）																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																											
	9,683,017	9,173,800			2,472,800	6,701,000																											

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()																															
	1 項	商工費		第 7 節	年間を通して観光客が訪れることによりにぎわいを創出する		()																															
	3 目	観光費		(1)	魅力ある観光地づくりと効率的なPRの推進を図る		()																															
実施計画掲載ページ		P56	中 事 業	海水浴場開設費																																		
事業コード		003-007-001-00158	事 業 名	海水浴場開設事業																																		
目的及び事業内容		夏の観光の目玉として、三陸の綺麗な海を海水浴場として開設する。また、施設の安全対策の充実と利便性の向上に努め、海難事故防止を図るとともに、観光客や市民が安心して海に親しむためのレクリエーションの場として誘客を促進し、地域の活性化を図る。																																				
取組実績		<p>1 市営海水浴場の開設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>海水浴場名</th> <th>地区</th> <th>開設期間</th> <th>日数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>渡波海水浴場</td> <td>市内</td> <td>7/20（土）～8/18（日）</td> <td>30</td> <td>※7/20海開き式</td> </tr> <tr> <td>白浜海水浴場</td> <td>北上</td> <td>7/20（土）～8/18（日）</td> <td>30</td> <td>※7/20海開き式</td> </tr> <tr> <td>網地白浜海水浴場</td> <td>牡鹿</td> <td>7/20（土）～8/25（日）</td> <td>37</td> <td>※7/19海開き式</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 令和2年度開設準備 荒浜海水浴場・十八成浜海水浴場について、開設に向け関係機関と調整を行った。</p> <p>3 網地白浜海水浴場公衆トイレ修繕 網地白浜海水浴場トイレの洋式化修繕を実施した。 修繕料 1,274,400円 財源：離島活性化交付金 637,000円 補助率1/2</p>							海水浴場名	地区	開設期間	日数	備考	渡波海水浴場	市内	7/20（土）～8/18（日）	30	※7/20海開き式	白浜海水浴場	北上	7/20（土）～8/18（日）	30	※7/20海開き式	網地白浜海水浴場	牡鹿	7/20（土）～8/25（日）	37	※7/19海開き式										
海水浴場名	地区	開設期間	日数	備考																																		
渡波海水浴場	市内	7/20（土）～8/18（日）	30	※7/20海開き式																																		
白浜海水浴場	北上	7/20（土）～8/18（日）	30	※7/20海開き式																																		
網地白浜海水浴場	牡鹿	7/20（土）～8/25（日）	37	※7/19海開き式																																		
成 果		令和元年度は、渡波・白浜・網地白浜海水浴場の3か所で海水浴場が開設され、多くの観光客や市民に海に親しむ場を提供した。また、海水浴場施設の安全対策の充実と利便性の向上に努めることにより、海難事故防止が図られた。																																				
成果に係る評価		<p>1 海水浴場入込数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>海水浴場名</th> <th>地区</th> <th>日数</th> <th>R1入込数</th> <th>H30入込数</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>渡波海水浴場</td> <td>市内</td> <td>30</td> <td>8,659</td> <td>5,300</td> <td>163.4%</td> </tr> <tr> <td>白浜海水浴場</td> <td>北上</td> <td>30</td> <td>7,053</td> <td>4,496</td> <td>156.9%</td> </tr> <tr> <td>網地白浜海水浴場</td> <td>牡鹿</td> <td>37</td> <td>19,770</td> <td>28,699</td> <td>68.9%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td></td> <td>35,482</td> <td>38,495</td> <td>92.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 今後開設する海水浴場 令和3年度：荒浜海水浴場、十八成浜海水浴場（新型コロナウイルスの影響により、令和2年度の開設が中止となったため、次年度に開設が延期となった。）</p>							海水浴場名	地区	日数	R1入込数	H30入込数	比較	渡波海水浴場	市内	30	8,659	5,300	163.4%	白浜海水浴場	北上	30	7,053	4,496	156.9%	網地白浜海水浴場	牡鹿	37	19,770	28,699	68.9%	計			35,482	38,495	92.2%
海水浴場名	地区	日数	R1入込数	H30入込数	比較																																	
渡波海水浴場	市内	30	8,659	5,300	163.4%																																	
白浜海水浴場	北上	30	7,053	4,496	156.9%																																	
網地白浜海水浴場	牡鹿	37	19,770	28,699	68.9%																																	
計			35,482	38,495	92.2%																																	
成果に係る評価		網地白浜の来場者については、例年に比べて梅雨明けが遅れたことから、昨年度を大きく下回った。渡波については、遊泳期間を1週間延長したことにより、入込数が昨年度を上回ったものと考えられる。北上については、隣接する白浜ビーチパークが平成31年4月にオープンしたため、入込数が増加した。今後も事故等が無く、安心して観光客や市民が利用できるよう管理が必要と考える。																																				
（単位：円）																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																
	19,679,000	18,909,296	637,000			18,272,296																																

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()													
	1 項	商工費		第 節			()													
	3 目	観光費		()			()													
実施計画掲載ページ			中 事 業	北上観光物産交流センター運営費																
事業コード			事 業 名	北上観光物産交流センター管理運営事業																
目的及び事業内容			環境省が北上地区に整備するフィールドミュージアムの敷地内に、北上観光物産交流センターを整備し、平成30年2月11日に開館している。石巻市北上観光物産交流センター条例に基づき、地域の観光情報の提供と地場産品等の展示及び販売を実施し、地域の再生と観光振興を図る。																	
取 組 実 績			<p>1 北上観光物産交流センター 所在地：石巻市北上町十三浜字東田1番地 開館時間：午前9時から午後5時まで 休館日：火曜日及び年末年始 2 指定管理者：一般社団法人 石巻観光協会 3 指定管理料：5,800,000円（令和元年度） 4 指定管理期間：平成30年2月1日～令和3年3月31日 5 事業内容：①北上の観光案内・情報の発信 ②北上の生産物及び加工品の展示販売 ③北上の風景写真の展示等 6 利用実績：入館者数 17,934人 ※イベント開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年 7月14日「ホヤ詰め放題」 来館者48人 令和元年 8月 4日「トマト・パプリカ即売会」 来館者101人 令和元年 9月29日「新米フェア」環境フェアと同時開催 来館者264人 令和元年11月24日「ホタテ即売会」 来館者156人 令和元年12月22日「にっこり歳の市」 24店舗出店 来場者2,500人 令和 2年 1月26日、2月2日、2月16日、2月23日「新わかめ即売会」 来館者473人 令和 2年 2月11日「2周年記念イベント」 来館者510人 																	
成 果			<p>令和元年度の入館者は17,934人（1日平均約64人）となっており、新型コロナウイルスの影響等もあり前年度より減少している。センターの運営に当たっては、地元の北上地域物産振興協会と連携し、イベントの開催回数を増やし誘客に努め、魅力あふれる地場産品の販売促進を行ったことにより賑わいが創出された。</p> <p>※利用者数（年度別）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開館日数（日）</td> <td>42</td> <td>310</td> <td>282</td> </tr> <tr> <td>入館者数（人）</td> <td>6,565</td> <td>22,678</td> <td>17,934</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H29	H30	R1	開館日数（日）	42	310	282	入館者数（人）	6,565	22,678	17,934
年度	H29	H30	R1																	
開館日数（日）	42	310	282																	
入館者数（人）	6,565	22,678	17,934																	
成果に係る評価			平成30年4月18日に開設した環境省の「川のビジターセンター」、平成30年7月21日に再開した白浜海水浴場、平成31年4月1日に開設した「白浜ビーチパーク」と相乗効果を期待したが、令和元年度においては十分な集客には至らなかった。 イベントの開催や周辺の観光コンテンツの効果的な情報発信により、地域の周遊・滞在時間を増やしていく。																	
（単位：円）																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源														
	5,800,000	5,800,000				5,800,000														

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	1 項	商工費		第 節			()	
	3 目	観光費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	牡鹿地域拠点エリア運営費				
事業コード			事 業 名	牡鹿地域拠点エリア管理運営事業				
目的及び事業内容			おしかホエールランドや情報交流館の機能を併せ持った観光物産交流施設などを牡鹿地域拠点エリアとして運営し、環境省が整備する牡鹿半島ビジターセンターと連携しながら、牡鹿地域の水産・観光の振興、観光客と市民との交流の促進及び地域の活性化を図る。 また、環境省及び地域団体と共に牡鹿半島ビジターセンター運営協議会を設置し、ビジターセンターを拠点とした自然体験活動を通して、エコツーリズム及び環境教育を推進することにより、地域の自然環境保全及び活性化に寄与する。					
取 組 実 績			<p>1 牡鹿地域拠点エリア 施設概要 (1)おしかホエールランド：鯨に関する資料の収集、展示及び歴史・文化の継承口 (2)観光物産交流施設：地域特産品等の展示・販売、地域情報の発信及び交流促進 2 牡鹿地域拠点エリア 管理業務 (1)指定管理者：一般社団法人 鮎川まちづくり協会 (2)指定管理期間：令和元年9月1日～令和6年3月31日 (3)指定管理料：15,800千円 (4)業務内容 ①管理施設の維持管理に関する業務 ②管理施設の利用の許可に関する業務 ③利用料金の収受、減免及び還付に関する業務 ※今年度は、9月から観光物産交流施設を開設し、おしかホエールランドは令和2年度からの開設となる。 3 牡鹿地域拠点エリア 利用実績 (1)観光物産交流施設全般：24,948人（令和元年10月4日～令和2年3月31日） (2)インフォメーションコーナー：2,001人 (3)テナント（7事業者）合算人数：21,334人 (4)指定管理業務によるイベント：5回、延べ3,030人 (5)自主事業によるイベント：2回、延べ1,284人 4 牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業 (1)活動拠点となる牡鹿半島ビジターセンターの運営に関する事業 (2)自然体験活動プログラムの企画・実施に関する事業 (3)三陸復興国立公園及びその周辺の各種情報の収集・提供に関する事業 5 牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業実績 (1)各種研修会の実施：6回開催、81名参加 (2)セミナー・イベント等実施：10回開催、305名参加 6 牡鹿半島ビジターセンター 入館者数 12,484人（3月5日～31日は、新型コロナウイルス感染予防対策のため休館）</p>					
成 果			令和元年度は、地域特産物を販売する観光物産交流施設の管理運営を行い、牡鹿半島ビジターセンターが行うエコツーリズム等と連携しながら、牡鹿地域の魅力の発信と交流人口の拡大に努めた。 また、牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業として、エコツーリズムや環境教育に繋がる研修会やセミナー・イベント等を企画・実施することにより、牡鹿地域の魅力の再発見と来館者の増加に寄与した。なお、新型コロナウイルス感染予防対策に努め、来館者に周知すると共にテナント事業者も営業自粛等の措置を取った。					
成果に係る評価			牡鹿地域拠点エリア指定管理者は、適切な施設の運営管理に努めており、イベントの実施による集客と懇切丁寧なインフォメーションを行っている。来館者数は、観光物産交流施設の半年間で2万5千人程であり、おしかホエールランド開館後の来場者に期待が持てる。 また、牡鹿半島ビジターセンター運営協議会事業は、研修会やセミナー・イベント等を計16回開催し、386人の参加者があり、牡鹿地域拠点エリアの来客に貢献している。 新型コロナウイルス感染予防についても、万全の対策をとっており、多くの来館者を迎えながら、感染者の発生を抑えてきた。					
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
	23,383,000	23,382,948				23,382,948		

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																		
	1 項	商工費				(2)	企業誘致と新産業の創出																		
	4 目	東日本大震災関係費				(1)	産業の活性化と新産業の育成																		
実施計画掲載ページ		P216	中 事 業		企業立地等促進事業費																				
事業コード		004-201-003-00531	事 業 名		企業誘致等支援事業																				
目的及び事業内容		事業者の設備投資を促すため、設備投資額や雇用人数等の一定の要件を満たす事業者に対して助成金を交付することで、企業誘致の促進と市内企業の育成による産業の振興と雇用の拡大を図る。																							
取 組 実 績		<p>石巻市企業立地等促進条例助成金交付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>件数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・企業立地助成金</td> <td>19 件</td> <td>19,139,900 円</td> </tr> <tr> <td>・上水道料金助成金</td> <td>2 件</td> <td>1,123,280 円</td> </tr> <tr> <td>・雇用奨励助成金</td> <td>2 件</td> <td>5,400,000 円</td> </tr> <tr> <td>・環境対策設備助成金</td> <td>4 件</td> <td>70,920,000 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>27 件</td> <td>96,583,180 円</td> </tr> </tbody> </table>						項目	件数	事業費	・企業立地助成金	19 件	19,139,900 円	・上水道料金助成金	2 件	1,123,280 円	・雇用奨励助成金	2 件	5,400,000 円	・環境対策設備助成金	4 件	70,920,000 円	合計	27 件	96,583,180 円
項目	件数	事業費																							
・企業立地助成金	19 件	19,139,900 円																							
・上水道料金助成金	2 件	1,123,280 円																							
・雇用奨励助成金	2 件	5,400,000 円																							
・環境対策設備助成金	4 件	70,920,000 円																							
合計	27 件	96,583,180 円																							
成 果		本市産業の活性化のため、事業者の設備投資等を促進した結果、令和元年度においては、助成金交付は20社27件、うち令和元年度に新たに助成金を交付したのは5社であった。 なお、令和元年度に新たに助成金を交付した事業者全体で、11名の新規雇用があり、安定的かつ持続的な就業の場が確保され、雇用の促進が図られた。																							
成果に係る評価		令和元年度は、20社に対して助成金を交付しており、誘致企業のみならず市内企業に対する支援も行い、本市産業の復興及び活性化に寄与している。 今後も、企業誘致、市内企業支援を行うなかで、市独自のインセンティブである企業立地等促進条例助成金を周知しながら、石巻トウモロビジネスタウン、上釜南部・下釜南部地区及び浜西地区産業ゾーンを中心に本市への立地を促していく。																							
(単位：円)																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																			
	146,425,467	96,583,180				96,583,180																			

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	()																																																							
	1 項	商工費				()																																																							
	4 目	東日本大震災関係費				()																																																							
実施計画掲載ページ			中 事 業		企業立地等促進事業費																																																								
事業コード			事 業 名		次世代施設園芸導入加速化支援事業																																																								
目的及び事業内容		施設園芸を次世代に向かって発展させるため、施設の大規模な集約によるコスト削減、ICTを使用した高度な環境制御技術による周年・計画生産を行い、所得の向上と地域雇用の創出を図るため、木質バイオマス等の地域資源を活用した脱石油型エネルギー供給施設や高度な環境制御を行う園芸施設等を整備した事業者の経営を支援する。																																																											
取 組 実 績		<p>国の次世代施設園芸導入加速化支援事業の趣旨及び目的を踏まえ、国事業を的確かつ円滑に実施することを目的とし、生産者、実需者、研究機関及び行政等で組織する「石巻次世代施設園芸コンソーシアム」が設立されており、事業主体である株式会社デ・リーフデ北上の経営の安定化に向け、市場ニーズに合った販売戦略構築などの経営支援のほか、栽培指導や化石燃料削減などに取り組んでいる。</p> <p>石巻次世代施設園芸コンソーシアム 構成員 ・株式会社デ・リーフデ北上 ・株式会社石巻青果 ・リッチフィールド株式会社 ・いしのまき農業協同組合 ・株式会社未来彩園 ・宮城県 ・デリカフーズ株式会社 ・石巻市 オブザーバー ・宮城大学 ・東北大学 未来科学技術共同研究センター</p> <p>コンソーシアム取組実績 1 石巻次世代施設園芸コンソーシアム 総会 令和元年 5月31日 第1回運営委員会 令和元年 5月16日</p> <p>2 国内先進地調査 ①第1回次世代施設園芸フォーラムin富山 令和元年10月29日～30日</p> <p>3 情報発信 ①トマト・パブリカレシピパンフレット作成</p>																																																											
成 果		<p>石巻次世代施設園芸コンソーシアムの活動により、栽培、販売計画等及び化石燃料3割削減の情報共有が図られ、今後の事業実施に向けて、各種課題解決につながる協議が行われた。 また、令和元年9月にトマト、令和2年1月にパブリカの第4期作目出荷が開始され、ともに目標収量を上回り、販売についても契約取引が拡大したことで販売単価が上昇し、売上増にもつながっている。 新たな取り組みとして、インターネットでの消費者への直接販売も開始されるなど、販路開拓が進んでいる。 令和元年度は、単年度黒字と経営も安定化してきており、石巻次世代施設園芸コンソーシアムは、次世代施設園芸導入加速化支援事業期間(5年間)満了に伴い終了となる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>トマト</td> <td>収量(目標t)</td> <td>90.1</td> <td>246.8</td> <td>321.5</td> <td>342.2</td> <td>収量(目標t)</td> <td>46.6</td> <td>226.2</td> <td>247.0</td> <td>249.5</td> </tr> <tr> <td>パブリカ</td> <td>収量(実績t)</td> <td>162.4</td> <td>371.1</td> <td>423.9</td> <td>451.3</td> <td>収量(実績t)</td> <td>85.4</td> <td>314.7</td> <td>300.0</td> <td>291.8</td> </tr> <tr> <td>トマト</td> <td>対目標比(%)</td> <td>180.2</td> <td>150.4</td> <td>131.9</td> <td>131.9</td> <td>対目標比(%)</td> <td>183.3</td> <td>139.1</td> <td>121.5</td> <td>117.0</td> </tr> <tr> <td>パブリカ</td> <td>栽培期間</td> <td>5か月</td> <td>10か月</td> <td>11か月</td> <td>10か月</td> <td>栽培期間</td> <td>4か月</td> <td>9か月</td> <td>9か月</td> <td>10か月</td> </tr> </tbody> </table>							H28	H29	H30	R1		H28	H29	H30	R1	トマト	収量(目標t)	90.1	246.8	321.5	342.2	収量(目標t)	46.6	226.2	247.0	249.5	パブリカ	収量(実績t)	162.4	371.1	423.9	451.3	収量(実績t)	85.4	314.7	300.0	291.8	トマト	対目標比(%)	180.2	150.4	131.9	131.9	対目標比(%)	183.3	139.1	121.5	117.0	パブリカ	栽培期間	5か月	10か月	11か月	10か月	栽培期間	4か月	9か月	9か月	10か月
	H28	H29	H30	R1		H28	H29	H30	R1																																																				
トマト	収量(目標t)	90.1	246.8	321.5	342.2	収量(目標t)	46.6	226.2	247.0	249.5																																																			
パブリカ	収量(実績t)	162.4	371.1	423.9	451.3	収量(実績t)	85.4	314.7	300.0	291.8																																																			
トマト	対目標比(%)	180.2	150.4	131.9	131.9	対目標比(%)	183.3	139.1	121.5	117.0																																																			
パブリカ	栽培期間	5か月	10か月	11か月	10か月	栽培期間	4か月	9か月	9か月	10か月																																																			
成果に係る評価		宇宙航空研究開発機構(JAXA)の宇宙ステーション補給機「こうのとり」に当該施設で栽培したパブリカが2年連続で搭載され、知名度が向上してきている。また、インターネットを介した消費者への直接販売も始め、レシピパンフレットを同封することで、消費者満足度を向上させ、販路拡大に向けた取組が進んできている。																																																											
(単位：円)																																																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																							
	200,000	200,000				200,000																																																							

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																																				
	1 項	商工費					(1)	海とともに生きる																																				
	4 目	東日本大震災関係費					(4)	商業の再建復興																																				
実施計画掲載ページ		P200	中 事 業		商工業復興対策費																																							
事業コード		003-104-001-00430	事 業 名		中小企業者支援事業〔復興基金〕																																							
目的及び事業内容		震災により直接被害を受けた市内中小企業者を支援するため、被災した施設及び設備の復旧に要する経費の一部を補助するもの。																																										
取組実績		令和元年度補助金交付額 5,692,835円 1 補助対象者 (1) 市内で事業を営んでいる中小企業者 (2) 施設が全壊又はそれに準ずる大規模な被害を受け、事業を継続することが困難である者 (3) 施設及び設備を復旧して市内で事業を再開又は継続する者で、かつ、当該復旧に要する経費が20万円以上である者 (4) 東日本大震災発生以前に、到来した納期において納付すべき市税及び国民健康保険税を完納しており、かつ、事業内容が堅実な事業者 2 補助対象工事 (1) 被災した施設の修復、建替に要する経費（住宅と施設が一体となっている場合は、施設に要する経費に限る。） (2) 被災した設備の修繕又は入替に要する経費 3 補助金の額 補助対象経費の2分の1以内に相当する額（限度額100万円）																																										
成 果		被災した市内事業者の施設復旧を支援することにより、地域経済の活性化を図った。 ・ 令和元年度交付件数 6事業所 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>交付件数</th> <th>交付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>サービス業</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>運輸業</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>卸・小売業</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>宿泊・飲食業</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>製造業</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>建設業</td><td>2</td><td>1,692,835円</td></tr> <tr><td>医療・福祉</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>教育・学習支援業</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>情報通信業</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>不動産業</td><td>4</td><td>4,000,000円</td></tr> <tr><td>計</td><td>6</td><td>5,692,835円</td></tr> </tbody> </table>							業種	交付件数	交付金額	サービス業	0		運輸業	0		卸・小売業	0		宿泊・飲食業	0		製造業	0		建設業	2	1,692,835円	医療・福祉	0		教育・学習支援業	0		情報通信業	0		不動産業	4	4,000,000円	計	6	5,692,835円
業種	交付件数	交付金額																																										
サービス業	0																																											
運輸業	0																																											
卸・小売業	0																																											
宿泊・飲食業	0																																											
製造業	0																																											
建設業	2	1,692,835円																																										
医療・福祉	0																																											
教育・学習支援業	0																																											
情報通信業	0																																											
不動産業	4	4,000,000円																																										
計	6	5,692,835円																																										
成果に係る評価		令和元年度は6事業所に対して補助金を交付した。 平成23年度から事業を実施し、これまで713件、約5億5千万円の補助金交付を行い、事業者の復旧支援を行った。 令和2年度が事業最終年度となるが、未だに国、県事業の高上工事や被災市街地区画整理等未だに復興工事が完了していない状況では、事業用地が未確定のため、事業を再開できていない事業者が多く残されており、申請には至らないが、補助申請についての相談が引き続き多々あったことから、本事業の継続実施が必要である。																																										
(単位：円)																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																						
	5,693,000	5,692,835			5,692,835																																							

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																
	1 項	商工費					(3)	職の再建																																
	4 目	東日本大震災関係費					(1)	雇用の維持と創出																																
実施計画掲載ページ		P189	中 事 業		中小企業等融資関係費																																			
事業コード		002-301-001-00392	事 業 名		融資あっせん制度拡充事業〔復興基金〕																																			
目的及び事業内容		事業資金を必要とする中小企業事業者への緊急経済対策として、制度融資を実施するもの。市は預託金を差し入れ、金融機関においては、市が預託した金額の10倍の融資枠を設定する。また、融資保証料を50%補給、小企業小口融資利用者に対しては保証料を100%補給し安定した事業運営を支援している。東日本大震災の影響により被害を受けた事業者を支援するため、平成23年7月より災害関連枠を創設し、令和元年度より保証料の100%補給及び利子補給（3年間）を実施。																																						
取組実績		金融機関に預託金を差し入れるとともに、保証料及び利子の補給、損失補償金を支出した。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>預託額(円)</th> <th>保証料補給(円)</th> <th>利子補給(円)</th> <th>損失補償金(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中小企業融資(一般)</td> <td>182,500,000</td> <td>9,125,635</td> <td>—</td> <td>463,001</td> </tr> <tr> <td>中小企業融資(災害)</td> <td>387,500,000</td> <td>118,270,851</td> <td>13,025,928</td> <td>76,231</td> </tr> <tr> <td>小企業小口融資</td> <td>19,000,000</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>589,000,000</td> <td>127,396,486</td> <td>13,025,928</td> <td>539,232</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;"> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>総合計(円)</td></tr> <tr><td>729,961,646</td></tr> </table> </div>							区 分	預託額(円)	保証料補給(円)	利子補給(円)	損失補償金(円)	中小企業融資(一般)	182,500,000	9,125,635	—	463,001	中小企業融資(災害)	387,500,000	118,270,851	13,025,928	76,231	小企業小口融資	19,000,000	0	—	0	合計	589,000,000	127,396,486	13,025,928	539,232	総合計(円)	729,961,646					
区 分	預託額(円)	保証料補給(円)	利子補給(円)	損失補償金(円)																																				
中小企業融資(一般)	182,500,000	9,125,635	—	463,001																																				
中小企業融資(災害)	387,500,000	118,270,851	13,025,928	76,231																																				
小企業小口融資	19,000,000	0	—	0																																				
合計	589,000,000	127,396,486	13,025,928	539,232																																				
総合計(円)																																								
729,961,646																																								
成 果		上記事業の実施により、市内中小企業の経営の維持安定及び振興発展が図られた。 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">融資条件</th> <th rowspan="2">融資枠(千円)</th> <th colspan="2">融資状況</th> <th colspan="2">債務残高</th> </tr> <tr> <th>件数(件)</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数(件)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中小企業融資(一般)</td> <td>(1) 限度額：2,000万円 (2) 期間：運転7年・設備10年・併用7年(据置期間1年以内) (3) 利率：年2.0% (1年以内1.8%) (4) 保証料補給：信用保証料50%</td> <td>1,825,000</td> <td>60</td> <td>503,547</td> <td>265</td> <td>1,230,256</td> </tr> <tr> <td>中小企業融資(災害)</td> <td>(1) 限度額：2,000万円 (2) 期間：10年(据置期間2年以内) (3) 利率：年1.5% (4) 保証料補給：信用保証料100%</td> <td>3,875,000</td> <td>340</td> <td>4,692,580</td> <td>415</td> <td>4,670,227</td> </tr> <tr> <td>小企業小口融資</td> <td>(1) 限度額：350万円 (2) 期間：運転5年・設備7年・併用5年(据置期間6か月以内) (3) 利率：年2.2% (1年以内2.0%) (4) 保証料補給：信用保証料100%</td> <td>95,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>4,198</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	融資条件	融資枠(千円)	融資状況		債務残高		件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	中小企業融資(一般)	(1) 限度額：2,000万円 (2) 期間：運転7年・設備10年・併用7年(据置期間1年以内) (3) 利率：年2.0% (1年以内1.8%) (4) 保証料補給：信用保証料50%	1,825,000	60	503,547	265	1,230,256	中小企業融資(災害)	(1) 限度額：2,000万円 (2) 期間：10年(据置期間2年以内) (3) 利率：年1.5% (4) 保証料補給：信用保証料100%	3,875,000	340	4,692,580	415	4,670,227	小企業小口融資	(1) 限度額：350万円 (2) 期間：運転5年・設備7年・併用5年(据置期間6か月以内) (3) 利率：年2.2% (1年以内2.0%) (4) 保証料補給：信用保証料100%	95,000	0	0	2	4,198
区 分	融資条件	融資枠(千円)	融資状況		債務残高																																			
			件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)																																		
中小企業融資(一般)	(1) 限度額：2,000万円 (2) 期間：運転7年・設備10年・併用7年(据置期間1年以内) (3) 利率：年2.0% (1年以内1.8%) (4) 保証料補給：信用保証料50%	1,825,000	60	503,547	265	1,230,256																																		
中小企業融資(災害)	(1) 限度額：2,000万円 (2) 期間：10年(据置期間2年以内) (3) 利率：年1.5% (4) 保証料補給：信用保証料100%	3,875,000	340	4,692,580	415	4,670,227																																		
小企業小口融資	(1) 限度額：350万円 (2) 期間：運転5年・設備7年・併用5年(据置期間6か月以内) (3) 利率：年2.2% (1年以内2.0%) (4) 保証料補給：信用保証料100%	95,000	0	0	2	4,198																																		
成果に係る評価		令和元年度より中小企業融資災害関連枠の制度拡充を行った結果（融資枠1,000万円→2,000万円。保証料50%補給→100%補給）、災害関連枠の融資実績が340件とこれまで以上に増加した。一般枠についても、前年比25%程度減少したが60件の申込となった。 本年度の状況から、市内企業が、東日本大震災からの復興・復旧途中であり、震災前の売上等の水準には達していないことから、依然として被災事業者が融資制度を必要としており、引き続き事業を継続していく必要がある。																																						
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	729,962,414	729,961,646			729,422,414	539,232																																		

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																																																												
	1 項	商工費		第 節		(2)	企業誘致と新産業の創出																																																												
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	産業の活性化と新産業の育成																																																												
実施計画掲載ページ		P216	中 事 業	企業育成支援事業費																																																															
事業コード	004-201-003-00530	事 業 名	6次産業化推進事業〔復興基金〕																																																																
目的及び事業内容	<p>地域資源を活用した商品開発、ブランド力向上及び販路拡大を推進するため、6次産業化の担い手となる人材育成と事業化支援を行うことにより、1次産業事業者の経営多角化及び所得向上並びに地場産業の振興を推進するため、「石巻市6次産業化・地産地消推進センター」の運営を委託する。センターにおいては6次産業化に取り組む人材育成のため、セミナー等を実施するとともに、6次産業化に取り組む事業者に対し、個別相談や相談の内容に応じた専門家の派遣等、必要な支援を実施する。</p>																																																																		
取組実績	<p>1 6次産業化推進業務委託料 56,519,803円 2 令和元年度はセンターにおいて以下の事業を実施した。 (1) 事業化支援 ア 商品開発支援 支援員派遣等により、各種マーケティング調査やテスト販売、アドバイスを実施し商品化を推進。商品化件数は21件となった。 また、販路開拓支援については、新規販路獲得件数15件となった。 イ 総合支援 相談受付件数248件のうち6次産業化関連は11事業者から165件。 (2) イベント・プロモーションの取り組み ア 販売促進・販路開拓支援 イオン仙台幸町店、東松島コミュニティセンター等にてチャレンジショップの開催。 (センター利用事業者の新規開発商品を地産地消拡大とPRを目的に開催した。) イ 地産地消推進 イベント会場を使用し、地産地消を推進する販売イベントを開催した。 (東松島蔵しっくパークにて10事業者が参加)</p>																																																																		
成 果	<p>センター事業の実施により、6次産業化の進捗が図られた。 【セミナー（講演会・ワークショップ等）及び視察の開催結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>開催回数</th> <th>目標参加者数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>2</td> <td>45</td> <td>116</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>3</td> <td>45</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>3</td> <td>45</td> <td>66</td> </tr> </tbody> </table> <p>【センター事業の成果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>相談受付件数</th> <th>支援事業者数</th> <th colspan="2">総合化事業計画認定件数</th> <th colspan="2">商品開発件数</th> <th colspan="2">販路開拓件数</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>266</td> <td>28</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>31</td> <td>10</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>350</td> <td>24</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>248</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>21</td> <td>10</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>							区分	開催回数	目標参加者数	参加者数	H29	2	45	116	H30	3	45	111	R1	3	45	66	区分	相談受付件数	支援事業者数	総合化事業計画認定件数		商品開発件数		販路開拓件数		実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	H29	266	28	2	1	5	31	10	26	H30	350	24	2	0	5	8	10	19	R1	248	11	2	0	5	21	10	15
区分	開催回数	目標参加者数	参加者数																																																																
H29	2	45	116																																																																
H30	3	45	111																																																																
R1	3	45	66																																																																
区分	相談受付件数	支援事業者数	総合化事業計画認定件数		商品開発件数		販路開拓件数																																																												
	実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績																																																											
H29	266	28	2	1	5	31	10	26																																																											
H30	350	24	2	0	5	8	10	19																																																											
R1	248	11	2	0	5	21	10	15																																																											
成果に係る評価	<p>市内全体で、6次産業化に取り組む事業者による成果は前年実績より件数は減少しているが、商品開発件数やこれまでの取り組みに対する成果は順調に増加しており、着実に6次産業化が進んでいる。取り組んでいる事業者に対して、レベルに応じた支援を行うとともに、自立を促すための支援として開催したワークショップ・セミナーや、これまでに開発された商品を含めた石巻の食材のPRを目的に実施したイベント等、市内に限らず近隣市町村で開催されたイベントへの出店を行うことで、市内に限らず石巻6次産業化事業の成果を基にした発展的な取り組みを行うことができた。今後も6次産業化を市の重要施策としてさらに推進していくため、事業者の自立をより一層意識した取り組みを重ね、継続して事業を行っていく必要がある。</p>																																																																		
(単位：円)																																																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																																													
	59,789,629	56,519,803			56,519,803																																																														

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																														
	1 項	商工費		第 節		(2)	企業誘致と新産業の創出																														
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	産業の活性化と新産業の育成																														
実施計画掲載ページ		P216	中 事 業	企業育成支援事業費																																	
事業コード	004-201-003-00926	事 業 名	6次産業化・地産地消推進事業〔復興基金〕																																		
目的及び事業内容	<p>農林漁業者と地域の様々な事業者との連携を強化し、創意工夫による地域資源の高付加価値化を図るため、1次産業者、2次産業及び3次産業を営む事業者がネットワークを形成して取り組む新商品開発や新ブランドの確立等を図る事業に対して、予算の範囲内において石巻市6次産業化・地産地消推進助成金を交付する。</p>																																				
取組実績	<p>1 新商品開発事業 新商品開発等のため、試作製造やテスト販売等に対し相談や指導、助言等を行うことにより、6次産業化・地産地消の推進が図られた。 2 販路開拓事業 販路開拓のため、1事業（ネットワーク構成した市内事業者計2者）に対し、分業・協業による製品化、加工・販売を2次・3次事業者の連携により、新たな販路開拓を行う費用を助成し、6次産業化・地産地消の推進が図られた。 3 施設整備事業 施設整備のため、建物建築工事、設備取得に係る相談や助言等を行い、6次産業化・地産地消の推進が図られた。</p>																																				
成 果	<p>令和元年度、本助成金の交付により、市内1次産業者の6次産業化等が図られた。 【助成金交付実績額】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値（件数）</th> <th>実績等（件数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>22</td> <td>10</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>40%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・新商品開発事業1件、販路開拓事業3件に対し、1,937,052円の助成金を交付した。</p>							区分	成果指標		達成率等	目標値（件数）	実績等（件数）	H26	5	2	40%	H27	22	10	45%	H28	10	8	80%	H29	10	6	60%	H30	10	1	10%	R1	10	4	40%
区分	成果指標		達成率等																																		
	目標値（件数）	実績等（件数）																																			
H26	5	2	40%																																		
H27	22	10	45%																																		
H28	10	8	80%																																		
H29	10	6	60%																																		
H30	10	1	10%																																		
R1	10	4	40%																																		
成果に係る評価	<p>令和元年度は、新商品開発事業1件、販路開拓事業3件の計4件、約194万円であった。これまでの助成により、石巻市の食材を活用した商品の開発に繋がっていると考えられ、本事業の効果は非常に高く、補助申請に向けた事前相談も活発に行われており、6次産業化に取り組む事業者への支援は今後も継続する必要がある。</p>																																				
(単位：円)																																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																		
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																															
	2,289,490	1,937,052			1,937,052																																

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																								
	1 項	商工費				(4)	地域資源を活かす																								
	4 目	東日本大震災関係費				(1)	観光業・施設の再生復興																								
実施計画掲載ページ	P205		中 事 業	観光物産復興対策費																											
事業コード	003-401-002-00463	事業名	物産市等開催・参加支援事業、復興物産PR事業 雄勝復興祭りイベント事業、北上復興祭りイベント事業〔復興基金〕																												
目的及び事業内容	復興市等の実施やイベントへの参加に対して助成金を交付し、観光復興を図る。																														
取組実績	1 物産市等開催・参加支援事業費補助金の交付 ①開催支援事業…補助率3/4(限度額75万円) ②参加支援事業…補助率4/5(限度額30万円) 2 雄勝復興祭りイベント事業補助金の交付 補助額:1,800,000円 内容:主におがつ店こ屋街を会場に、イベントを5回開催しにぎわいの創出を図った。 3 北上復興祭りイベント事業補助金の交付 補助額:1,000,000円 内容:にっこり歳の市を開催し、にぎわいの創出を図った。 4 北上にっこり写真セミナー事業補助金の交付 補助額:700,000円 内容:にっこり写真セミナー・コンクールを開催し、観光産業の活性化を図った。 5 復興物産イベント実施先																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>場所</th> <th>開催日</th> <th>入込数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひらつか七夕まつり</td> <td>神奈川県平塚市</td> <td>7/5~7/7</td> <td>1,550,000</td> </tr> <tr> <td>太田スボレク祭(焼きそば、海鮮串など)</td> <td>群馬県太田市</td> <td>10/26~10/27</td> <td>190,000</td> </tr> <tr> <td>東北復興大祭典なかの(缶詰、菓子、乾物等販売)</td> <td>東京都中野区</td> <td>10/26~10/27</td> <td>300,000</td> </tr> <tr> <td>狛江市民まつり(缶詰、菓子、乾物等販売)</td> <td>東京都狛江市</td> <td>11/17</td> <td>74,000</td> </tr> <tr> <td>東日本大震災復興応援元氣市in豊洲市場</td> <td>東京都江東区</td> <td>11/28~11/30</td> <td>8,300</td> </tr> </tbody> </table>								名称	場所	開催日	入込数(人)	ひらつか七夕まつり	神奈川県平塚市	7/5~7/7	1,550,000	太田スボレク祭(焼きそば、海鮮串など)	群馬県太田市	10/26~10/27	190,000	東北復興大祭典なかの(缶詰、菓子、乾物等販売)	東京都中野区	10/26~10/27	300,000	狛江市民まつり(缶詰、菓子、乾物等販売)	東京都狛江市	11/17	74,000	東日本大震災復興応援元氣市in豊洲市場	東京都江東区	11/28~11/30
名称	場所	開催日	入込数(人)																												
ひらつか七夕まつり	神奈川県平塚市	7/5~7/7	1,550,000																												
太田スボレク祭(焼きそば、海鮮串など)	群馬県太田市	10/26~10/27	190,000																												
東北復興大祭典なかの(缶詰、菓子、乾物等販売)	東京都中野区	10/26~10/27	300,000																												
狛江市民まつり(缶詰、菓子、乾物等販売)	東京都狛江市	11/17	74,000																												
東日本大震災復興応援元氣市in豊洲市場	東京都江東区	11/28~11/30	8,300																												
成 果	1 物産市等開催・参加支援事業費補助金の交付 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>交付件数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>物産市等イベント開催支援事業</td> <td>20件</td> <td>7,206,000円</td> </tr> <tr> <td>物産市等イベント参加支援事業</td> <td>63件</td> <td>11,941,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>83件</td> <td>19,147,000円</td> </tr> </tbody> </table>							事業名	交付件数	補助金額	物産市等イベント開催支援事業	20件	7,206,000円	物産市等イベント参加支援事業	63件	11,941,000円	計	83件	19,147,000円												
	事業名	交付件数	補助金額																												
物産市等イベント開催支援事業	20件	7,206,000円																													
物産市等イベント参加支援事業	63件	11,941,000円																													
計	83件	19,147,000円																													
2 雄勝復興祭りイベント事業 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>開催日</th> <th>入込数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北海道物産焼き出しBBQ</td> <td>5/3</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>おがつ夏海鮮まつり</td> <td>6/30</td> <td>1,600人</td> </tr> <tr> <td>おがつ灯籠流し</td> <td>8/14</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>おがつ海の幸まつり</td> <td>10/27</td> <td>300人</td> </tr> <tr> <td>おがつ店こ屋街年末年始売出大抽選会</td> <td>12/20~1/5</td> <td>9店舗参加</td> </tr> </tbody> </table>								名称	開催日	入込数	北海道物産焼き出しBBQ	5/3	100人	おがつ夏海鮮まつり	6/30	1,600人	おがつ灯籠流し	8/14	50人	おがつ海の幸まつり	10/27	300人	おがつ店こ屋街年末年始売出大抽選会	12/20~1/5	9店舗参加						
名称	開催日	入込数																													
北海道物産焼き出しBBQ	5/3	100人																													
おがつ夏海鮮まつり	6/30	1,600人																													
おがつ灯籠流し	8/14	50人																													
おがつ海の幸まつり	10/27	300人																													
おがつ店こ屋街年末年始売出大抽選会	12/20~1/5	9店舗参加																													
成果に係る評価	市内外の物産市等イベントに対して、事業経費の一部を補助することによって、本市特産品の普及が促進され、震災の影響により落ち込んだ地域経済を立て直すための一助となった。しかしながら、今年の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により市内外の物産市等のイベント開催の見通しが立っておらず、販路拡大及び地域経済復興に大きな影響が出ている。																														
	(単位:円)																														
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
	25,606,020	23,712,707	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
22,647,000 1,065,707																															

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる															
	1 項	商工費				(4)	地域資源を活かす															
	4 目	東日本大震災関係費				(1)	観光業・施設の再生復興															
実施計画掲載ページ	P205		中 事 業	観光物産復興対策費																		
事業コード	003-401-002-00465	事業名	石巻観光ボランティア協会復興支援事業〔復興基金〕																			
目的及び事業内容	「震災まなびの案内」、石巻地域の歴史・文化等を案内する取組により、被災地を訪れる方々に震災伝承、防災学習の意義を伝える活動及び、駅頭案内や各観光イベント時のガイドなどを実施している石巻観光ボランティア協会に対する活動費を補助し、円滑な活動の促進を図る。																					
取組実績	震災後、激増している来訪者の対応等で負担が大きい石巻観光ボランティア協会に対し、研修等のための活動費を補助した。 1 研修会関係 令和1年 5月 8日:網地島 令和1年 7月30日:旧石巻ハリストス正教会教会堂 令和1年11月27日:山形県米沢市 2 ボランティアガイド関係 平成31年 4月12日:大型客船寄港対応(ガイド、ツアー添乗等) 令和1年 5月 3日~4日:ゴールデンウィーク 駅頭案内 令和1年 6月 8日:おもてなしツアー みでけらin石巻 令和1年 7月28日:大型客船寄港対応(ガイド、ツアー添乗等) 令和1年 8月1日、12日~13日:石巻駅前駅頭案内 令和1年 9月14日:サイクルイベントランチオペレーション(荻浜) 令和1年 9月21日:大型客船寄港対応(ガイド、ツアー添乗等)ほか																					
	○ 大震災学びの案内 活動実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>バス台数(うち学校)</th> <th>参加人数(うち学校)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>628台(37台)</td> <td>13,475人(2,365人)</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>447台(29台)</td> <td>8,052人(1,199人)</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>403台(22台)</td> <td>7,463人(819人)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>315台(23台)</td> <td>5,730人(636人)</td> </tr> </tbody> </table> ※ 観光協会総会資料より									バス台数(うち学校)	参加人数(うち学校)	H28	628台(37台)	13,475人(2,365人)	H29	447台(29台)	8,052人(1,199人)	H30	403台(22台)	7,463人(819人)	R1	315台(23台)
	バス台数(うち学校)	参加人数(うち学校)																				
H28	628台(37台)	13,475人(2,365人)																				
H29	447台(29台)	8,052人(1,199人)																				
H30	403台(22台)	7,463人(819人)																				
R1	315台(23台)	5,730人(636人)																				
成 果	「大震災学びの案内」の利用者は、開始以来のべ12.9万人を超える全国からの来訪者を案内している。平成24年度に最多人数を記録し、以降は年々減少しており、令和1年度については前年度比76.8%となった。 石巻観光ボランティア協会は「震災まなびの案内」の実施に係る数少ない受入団体であることや、震災の教訓を次の世代に継承し、風化させないためにも本団体の存在は重要であり、今後も研修の実施により質の高い案内を提供し、参加人数の増加に取り組むこととしたい。																					
成果に係る評価	(単位:円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																			
	500,000	500,000	国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																
500,000																						

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																										
	1 項	商工費				(2)	企業誘致と新産業の創出																										
	4 目	東日本大震災関係費				(1)	産業の活性化と新産業の育成																										
実施計画掲載ページ		P217	中 事 業		企業育成支援事業費																												
事業コード		004-201-003-00931	事 業 名		企業育成支援事業〔復興基金〕																												
目的及び事業内容		市内既存企業及び進出企業に対して、新たな産業の創出及び雇用促進の効果が期待できる事業として取り組む人材育成、研究開発、情報提供、知的財産取得の各事業への助成金交付を行うことにより、本市の産業振興と雇用の拡大を図る。																															
取組実績		<p>「石巻市産業創造助成金」の交付 令和元年度より、事業者支援及び本事業の積極的な活用を促すため、要件の緩和や申請手法の簡素・簡略化を実施した。</p> <p>1 人材育成事業 市内企業の新分野進出等を図るため、従業員の資質・技術力向上のための研修等の費用に助成金を交付するものであるが、令和元年度は当該助成金の申請がなかった。</p> <p>2 研究開発事業 市内事業者の地域資源の活用、産学連携を図るため、研究開発（共同研究）の費用に助成金を交付するものであるが、令和元年度は2件総額500万円の助成金交付を行った。</p> <p>3 情報提供事業 市内事業者の販路拡大等を図るため、商品見本市、展示商談会等の出店等の費用に助成金を交付するものであるが、令和元年度は4件790,819円の助成金交付を行った。</p> <p>4 知的財産等取得事業 令和元年度より事業名及び内容を新たに改正し、市内事業者の高度化等を図るため、商品に係る意匠権や商標権、特許取得等の費用に助成金を交付するものであり、令和元年度は1件500,000円の助成金交付を行った。</p>																															
成 果		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値（件数）</th> <th>実績等（件数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>9 件</td> <td>4 件</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>9 件</td> <td>1 件</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>6 件</td> <td>0 件</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>6 件</td> <td>3 件</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>6 件</td> <td>7 件</td> <td>116%</td> </tr> </tbody> </table>						区分	成果指標		達成率等	目標値（件数）	実績等（件数）	H27	9 件	4 件	44%	H28	9 件	1 件	11%	H29	6 件	0 件	0%	H30	6 件	3 件	50%	R1	6 件	7 件	116%
区分	成果指標		達成率等																														
	目標値（件数）	実績等（件数）																															
H27	9 件	4 件	44%																														
H28	9 件	1 件	11%																														
H29	6 件	0 件	0%																														
H30	6 件	3 件	50%																														
R1	6 件	7 件	116%																														
成果に係る評価		令和元年度の本事業については、7件の補助申請があり、交付を行った。 令和元年度より行った、要件緩和や申請手法の簡略化等により、事業全体の推進が図られ、事業者支援を実施することができた。 本市の産業の復興及び事業者が抱えている課題の解決に有効な補助支援事業であるため、市内事業者に制度周知を継続し、本事業を積極的に推進していく必要がある。																															
（単位：円）																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																											
	8,000,000	6,290,819			6,290,819																												

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	()	
	1 項	商工費				()	
	4 目	東日本大震災関係費				()	
実施計画掲載ページ			中 事 業		サイクルツーリズム推進事業費		
事業コード			事 業 名		サイクルツーリズム推進事業〔地方創生〕		
目的及び事業内容		<p>・ツール・ド・東北関連イベントとして市主催のサイクルイベント開催を実施することにより、通年型サイクルツーリズムの推進及び地域経済活性化に寄与する。</p> <p>・自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会へ加盟し、全国的に機運が高まるサイクルツーリズムの促進を図る。</p>					
取組実績		<p>○サイクルイベントの開催</p> <p>1 ライドハンターズ石巻 開催年月日：令和元年8月25日（日） 参加人数：50名 会場：石巻市水産総合振興センター</p> <p>2 牡鹿半島チャレンジライドーヒルクライム&ファンライド 開催年月日：令和元年9月14日（土） 参加人数：82名 コース概要：コバルトライン女川～大六天山駐車場間を通行止めとしたタイム計測 ショートコース：女川～大原IC～荻浜～小積IC～女川（42.5Km） ロングコース：女川～御番所公園～荻浜～小積IC～女川（65.8Km）</p> <p>○自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会加盟 平成30年11月15日に設立された同会に加盟 ※本市は本会の理事を務めている。</p>					
成 果		<p>○サイクルイベントの開催</p> <p>1 ライドハンターズ石巻 ・概要：名所、店舗等を立ち寄りポイントに設定し、制限時間内でより多くのポイント立ち寄ることにより、総合得点を競うサイクルイベント、地域の店舗での消費活動を伴うため地域経済活性化に寄与した。 ・参加実績：宮城県内のほか、岩手県、福島県などからも参加があった。</p> <p>2 牡鹿半島チャレンジライドーヒルクライム&ファンライド ・概要：コバルトライン女川～大六天山駐車場間を通行止めとしたタイム計測し、その後、走行管理ライダーの先導によるファンライドで周遊。参加者による圏域での宿泊及び飲食などによる消費活動により地域経済活性化に寄与した。</p> <p>○自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会加盟 ・自転車を活用した取組で志を同じくする首長が連携し、健康、生きがい、友情を育む自転車新文化の普及拡大を図ることにより、地方創生の先進的、先駆的な取組みを実施する組織 令和2年7月1日現在 366自治体加盟</p>					
成果に係る評価		<p>・ツール・ド・東北としての牡鹿半島チャレンジライドは平成28年度～30年度までの3年間の開催で終了したことから、令和元年度からは後継イベントとして、（一社）石巻圏観光推進機構に委託し、市主催のサイクルイベントを開催した。ツール・ド・東北を通して定着しつつあるサイクルツーリズムの機運が高まりもあり、参加者の満足度も高かった。またイベントを通じて地域の経済活性化にも寄与しており、今後も自転車を活用したサイクルツーリズムの推進を図る。</p>					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	6,537,000	6,317,890	3,126,600			3,191,290	

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる
	1 項	商工費					(1)	海とともに生きる
	4 目	東日本大震災関係費					(4)	商業の再建復興
実施計画掲載ページ		P200	中 事 業		リボンアートフェスティバル開催支援事業費			
事業コード		003-104-001-01092	事 業 名		リボンアートフェスティバル開催支援事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容		市内中心部及び牡鹿半島を主会場として「地域振興／復興につながる循環」をテーマに開催される「アート」・「音楽」・「食」の総合芸術祭「Reborn-Art Festival」の開催支援を行うことで、交流人口を拡大する。						
取組実績		令和元年8月3日から9月29日まで（網地島エリアは8月20日から）、「いのちのてざわり」をテーマに「Reborn-Art Festival 2019」が開催された。 1 アート部門 7つのエリア（石巻駅前・市街地・桃浦・浜浜・小積・鮎川・網地島）に、国内外68組のアーティストが各エリアテーマを表現した82作品が展示された。 2 音楽部門 8月3日、4日にはオープニングライブ「転がる、詩」が石巻市総合体育館で開催されたほか、アート作品の付近で音楽を奏でるライブが開催された。また9月29日には中瀬公園において「リボンまつり2019」が開催された。 3 食部門 石巻・牡鹿半島の食の魅力を味わえるメニューが提供されたほか、地元料理人たちが監修したメニューが新たに提供された。 また、全国から招いたゲストシェフが提供するメニューを味わいながら、アート作品を鑑賞することができる取組や、地元の食材と自然を巡り、学びや発見を得る食のイベントも開催された。						
成 果		Reborn-Art Festival 2019では、来場者アンケートを実施しており、その結果によると来場者の54.4%が県外からであったなど、本市の知名度の向上、交流人口の増加に大いに寄与している。						
成果に係る評価		初めてアート会場となった網地島においては、本イベントの会場として継続して開催してほしいとの要望がなされるなど、地域としての盛り上がりが見えてきた。 令和3年度には第3回となる本祭が開催される予定であり、引き続き交流人口の増加と地域振興に向けて、本イベントの開催を支援していく必要がある。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源
	50,000,000		50,000,000				50,000,000	

予算科目	7 11 款	商工費 災害復旧費	総合計画	第 章		復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる						
	1 4 項	商工費 その他公共施設・公用施設災害復旧費					(4)	地域資源を活かす						
	4 1 目	東日本大震災関係費 その他公共施設災害復旧費					(1)	観光業・施設の再生復興						
実施計画掲載ページ		P204	中 事 業		雄勝地区観光施設整備事業費 伝統産業会館災害復旧費									
事業コード		003-401-001-00458	事 業 名		雄勝地区観光施設整備事業〔復興交付金〕									
目的及び事業内容		雄勝地域は、太平洋に臨む水産漁業の町として栄え、中心部地区では、インフォメーションセンターや雄勝硯伝統産業会館などが設置され、地域の歴史、文化、産業等をPRする観光拠点であったが、東日本大震災により、壊滅的な被害を受け観光・商業の機能が失われる状況となった。 このため、震災復興事業として雄勝中心部地区に賑わいを創出し、地域復興の核となる観光物産交流施設を整備し、観光客と市民との交流の促進及び地域の活性化を図るとともに、雄勝硯伝統産業会館の災害復旧を実施し、雄勝石を用いた雄勝地区の伝統工芸や産業の継承、観光産業の復興を図るもの。												
取組実績		雄勝地区観光施設整備及び伝統産業会館災害復旧として、下記事業を実施した。 1 観光物産交流施設整備事業 （7款1項4目 雄勝地区観光施設整備事業費） (1)施設建設工事 一式 2 雄勝硯伝統産業会館災害復旧事業 （11款4項2目 伝統産業会館災害復旧費） (1)災害復旧工事 一式 (2)展示修復業務 一式												
成 果		雄勝地区の拠点施設である観光物産交流施設整備及び雄勝硯伝統産業会館災害復旧の建設工事が完成し、拠点施設整備事業を推進することができた。 ■ H31年度（R元年度）末事業進捗率 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光物産交流施設建設工事</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>雄勝硯伝統産業会館災害復旧工事</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>							工事名称	事業進捗率	観光物産交流施設建設工事	100%	雄勝硯伝統産業会館災害復旧工事	100%
工事名称	事業進捗率													
観光物産交流施設建設工事	100%													
雄勝硯伝統産業会館災害復旧工事	100%													
成果に係る評価		各施工業者や関係部署等により構成される調整会議を定期的実施するなど、関係機関との連携により、建物建設工事が完成し、事業の進捗が図られた。												
（単位：円）														
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳									
					国（県）支出金	地方債	その他	一般財源						
	1,726,085,840		1,660,386,921		274,643,000		485,107,205	900,636,716						

予算科目	7 11 款	商工費 災害復旧費	総合 計画	第 章	復興 計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自 然とともに生きる						
	1 4 項	商工費 その他公共施設・公用施設災 害復旧費		第 節		(4)	地域資源を活かす						
	4 1 目	東日本大震災関係費 その他公共施設災害復旧費		()		(1)	観光業・施設の再生復 興						
実施計画 掲載ページ	P206		中 事 業	鮎川地区観光施設整備事業費 おしかホエールランド施設整備事業費 おしかホエールランド災害復旧費									
事業コード	003-401-003-00459		事 業 名	鮎川地区観光施設整備事業〔復興交付金〕									
目的及び事業内容	<p>牡鹿地域の商業と観光の中心であった鮎川地区は、東日本大震災により、おしかホエールランドをはじめ周辺の飲食店や観光土産店、航路事業所などが被災し、拠点としての機能が失われる状況となった。</p> <p>このため、商業と観光の振興、来訪者と市民との交流の促進及び地域特産品を提供し、地域の活性化を図ることを目的として「観光物産交流施設」を整備するとともに、捕鯨の歴史文化を発信する施設として、復興のシンボルとなる「おしかホエールランド」の災害復旧を実施し、鮎川地区の観光産業の復興を図るもの。</p>												
取 組 実 績	<p>鮎川地区観光施設整備及びおしかホエールランド災害復旧として、下記事業を実施した。 また、令和元年10月には観光物産交流施設が開業した。</p> <p>1 観光物産交流施設整備事業 (7款1項4目 鮎川地区観光施設整備事業費) (1) 施設建設工事 一式</p> <p>2 おしかホエールランド施設整備事業 (7款1項4目 おしかホエールランド施設整備事業費) (1) 捕鯨船展示改修基本設計業務 一式 (2) 展示修復業務 一式</p> <p>3 おしかホエールランド災害復旧事業 (11款4項1目 おしかホエールランド災害復旧費) (1) 災害復旧工事 一式 (2) 展示修復業務 一式</p>												
成 果	<p>鮎川浜地区の拠点施設である観光物産交流施設整備及びおしかホエールランド災害復旧の建物建設工事が完成し、また、捕鯨船前広場の災害復旧工事契約へ向けた準備が完了するなど、拠点施設整備事業を推進することができた。</p> <p>■ H31年度（R元年度）末事業進捗率</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光物産交流施設建設工事</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>おしかホエールランド災害復旧工事</td> <td>90% (建物等は100%)</td> </tr> </tbody> </table>							工事名称	事業進捗率	観光物産交流施設建設工事	100%	おしかホエールランド災害復旧工事	90% (建物等は100%)
工事名称	事業進捗率												
観光物産交流施設建設工事	100%												
おしかホエールランド災害復旧工事	90% (建物等は100%)												
成果に係る評価	<p>施工業者や関係部署等により構成される調整会議を定期的を実施するなど、関係機関との連携により、建物建設工事が完成し事業の進捗が図られた。</p> <p>また、拠点エリア内において、県道や防潮堤等の宮城県による復興事業や盛土工事等の基盤整備工事が同時に進められており、事業進捗に伴う工事調整が必要不可欠であることから、引き続き施工業者や関係部署及び関係団体と連携し、計画的な進捗管理を行っていく。</p>												
予算の執行状況	(単位：円)												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
1,265,149,572	1,134,320,897	247,856,000		427,826,077	458,638,820								